



Neb:o

TurnPit^F

ターンピット

取扱説明書

身長

40~150cm

保証書付き



i-Size 準拠

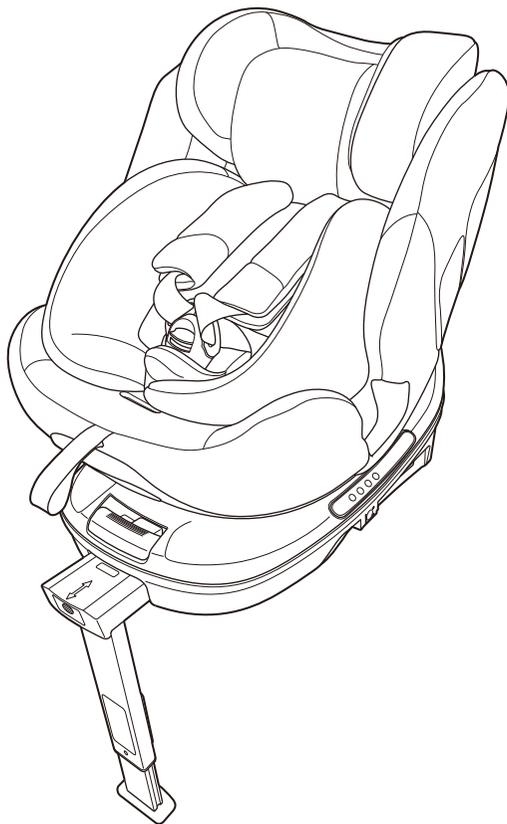


ISO FIX

R129/03

i-Size 汎用型 / i-Size ブースターシート

40~150cm



目次

■ 目次	2
■ ご使用いただく前に	4
■ 表示について	4
■ 安全にご使用いただくために	5
■ 取付けできる座席	7
■ シートベルトの条件	8
■ 取付けできない座席	9
■ 梱包内容	10
■ 各部の名称	11
■ チャイルドシートの移動時の持ちかた	12
■ お子さまの身長に合わせた使用方法	13
■ サポートレッグ	
■ 取出し方法	14
■ 設置・調節方法	15
■ 収納方法	15
■ リクライニングの操作方法	16
■ シートの回転方法	17
■ ISOFIX での取付け方法	
■ 取付ける前の準備	18
■ ISOFIX 取付け方法	18
■ サポートレッグの設置・調節方法	20
■ チェックリスト	21
■ ISOFIX の取外し方法	22
■ インナークッション	
■ インナークッションの各部の名称	23
■ インナークッション	23
■ ベビーサポート	23
■ インナークッションの取外し方法	24
■ 肩ベルトの調節方法	
■ 肩ベルト・腰ベルトをゆるめる方法	25
■ 肩ベルト・腰ベルトをしめる方法	25
■ バックルの取付け・取外し方法	26
■ ヘッドレスト(肩ベルト)の高さ調節と位置の目安	27
■ 肩ベルト位置の目安	27
■ ベビーシートモード(進行方向後向き)の使用方法「身長 40 ～ 105cm まで」	
■ お子さまを乗せる前の準備	28
■ お子さまの乗せかた	29
■ 肩ベルトの高さ	30
■ 肩ベルト・腰ベルトの長さ調節	31
■ シートの回転	31
■ 走行前のチェックリスト	32

■チャイルドシートモード(進行方向前向き)の使用方法「身長76~105cmまで」	33
■お子さまを乗せる前の準備	33
■お子さまの乗せかた	33
■肩ベルトの高さ	35
■肩ベルト・腰ベルトの長さ調節	35
■シートの回転	35
■走行前のチェックリスト	37
■ジュニアシートモード(進行方向前向き)の使用方法「身長100~150cmまで」	38
■車両への取付け方法	38
■ジュニアシートモードへの準備	39
□肩ベルト・バックルの収納	39
■ジュニアシートモード(ISOFIX+車両シートベルト+腰ベルトポジションナー)	43
□お子さまを乗せる前の準備	43
□お子さまの乗せかた	44
□走行前のチェックリスト	46
■ジュニアシートモード(車両シートベルト+腰ベルトポジションナー)	47
□お子さまを乗せる前の準備	47
□お子さまの乗せかた	48
□走行前のチェックリスト	50
■車両からの取外し方法	51
■シートカバーの取外し方法	53
■シートカバーの取付け方法	56
■ベビーサポート・インナークッションの取付け方法	56
■お手入れ方法	
■ベビーサポート	57
□洗濯方法	57
■ヘッドサポート	58
□洗濯方法	58
■バックサポート・サイドサポート	59
□洗濯方法	60
■各シートカバーの洗濯方法	60
■本体	60
■製品情報	
■本体サイズ	61
■材質	61
■保管方法	61
■廃棄方法	61
■MEMO	62
■保証書	63

ご使用いただく前に

この度は「チャイルドシート TurnPit F<ターンピット F>」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分に理解の上正しく使用してください。お読みになったあとも、取扱説明書収納ポケットで大切に保管してください。

- 本製品はチャイルドシート基準である UN ECE R129/03 に適合しており、身長 40cm ~ 150cm くらいまで(目安: 新生児 ~ 年齢 12 歳くらいまで)のお子さまを対象としたチャイルドシート [i-Size 汎用型 ISOFIX / i-Size ブースターシート] です。

上身長範囲外のお子さまにはご使用いただけません。

- ISOFIX 型チャイルドシートの取付けを許可された座席に取り付けることができます。ただし、ISOFIX 取付けバーを装備した全てのお車に取り付けられるものではありません。車両メーカーが示す位置、車両の取扱説明書を参照してください。

車種適合表につきましては下記 URL から確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

※車種適合表一覧は適宜更新しております。

チャイルドシートは、交通事故の場合に、お子さまの損害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときには必ず保護者の方が同乗してください。

表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため、重要な事項を『危険』、『警告』、『注意』の表示にて説明しています。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分しております。大変重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が起こる可能性が想定されます。

安全にご使用いただくために



危険

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- エアバッグが装備された座席では、本製品を使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により衝撃を受け、大変危険です。
- 使用条件に適合しないお子さまや、取付けのできない座席などでは使用しないでください。
- 車両の座席の種類などにより、取扱説明書通りにチャイルドシートを固定できない場合は使用しないでください。
- お子さまがチャイルドシートの上に立ち上がったたり、中腰にならないよう注意してください。
- ベビーシートモード・チャイルドシートモードでご使用の場合は、肩ベルトと腰ベルトが正しく装着され、左右のバックルタンクが差し込まれていることを確認してください。
- ジュニアシートモードでご使用の場合は、お子さまを座らせた時に、車両側のシートベルトが正しい位置で調節されていることを確認してください。
- ジュニアシートモードでご使用の場合は、必ず肩ベルトガイド・腰ベルトガイド・腰ベルトポジションナーを使用してください。衝突時、車両シートベルトが肩から外れて危険です。
- 車に取付ける際は、車両の取扱説明書および本書・本体表示に従い正しく取付けてください。
- 車に取付ける際は、必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。ジュニアシートモードは車両シートベルトのみでも取付けが可能ですが、ひもなどでは固定しないでください。



緊急時

緊急時は、保護者の方がバックル解除ボタンを押し、肩ベルト・腰ベルト(ジュニアシートモードの場合は、車両シートベルト)を外してすみやかにお子さまを解放し、車外に脱出させてください。



警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- シフトレバーやパーキングブレーキなど、操作に支障をきたす場合は、助手席へ取付けないでください。
- 2 ドアや3 ドアの車両で後部座席に人が乗車する場合は、助手席へ取付けないでください。
- お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX、または車両シートベルトで固定してください。ブレーキをかけた時など、車内に転がり、運転の妨げになることがあります。
- 肩ベルト・腰ベルトがゆるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付いて、窒息するおそれがあります。肩ベルト・腰ベルトは正しい長さに調節してください。
- チャイルドシートからの落下を防ぐため、車両シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤位置が確実に固定されるよう十分低い位置で装着してください。
- 車両シートベルトに傷などがある場合は、その座席に取付けないでください。
- 衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- お子さまがバックル解除ボタンを押しってしまう可能性があります。バックルタンクがバックルから外れていないことを確認してください。

- **ジュニアシートモードでご使用の場合**、肩ベルトガイドは肩と同じ位の高さになるよう調節し、車両シートベルトがお子さまの体にあうようにして、使用してください。
- チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。
- **短時間でもお子さまを車内に1人で放置しないでください。**日差しが強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また、予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者の方が同乗してください。



注意

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- 直射日光があたると、本体やバックルタンクが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。日差しが強い日は、日陰に駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。
- 走行中はチャイルドシートの操作及び調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないよう注意してください。
- チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒して怪我の原因になります。本書に記載のない使い方をしないでください。
- チャイルドシートを車のシート可動部や、ドアなどにはさまないよう、十分注意してください。
- チャイルドシートの改造や不当な修理は絶対にしないでください。
- お子さまだけで乗り降りはさせず、必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- シートカバーなどの縫製部分を外したまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取替えたりしないでください(衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります)。
- **車両の座席に、クッションや座布団を敷いてチャイルドシートを取付けしないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。**
- 座席の表皮素材(皮など)及び、形状によっては、取付けた車両の座席に傷がつくおそれがあります。
- チャイルドシートを雨風にさらさないでください。
- 固定されていない物を、車内に置かないでください。急ブレーキや衝突の際に、お子さまに当たるおそれがあります。
- 使用歴のわからない中古のチャイルドシートは絶対に使用しないでください。

取付けできる座席

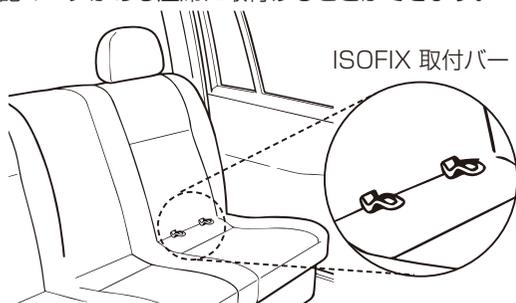
より安全に使用していただくために、後部座席での使用をおすすめします。

本製品は i-Size 適合、ISOFIX 対応の表記や、下記マークがある座席に取付けることができます。



<i-Size 適合マーク>

<ISOFIX 対応マーク>



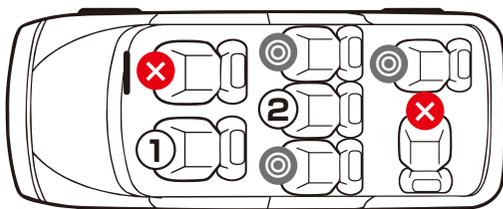
ISOFIX 取付バー

ただし、ISOFIX 取付けバーを装備した全てのお車に取付けられるものではありません。

本製品は [i-Size 汎用型 ISOFIX / i-Size ブースターシート] です。

本製品は車両の取扱説明書に表示されている i-Size 適合車両着席位置で使用するものとして UN 規則 NO.129 に従って許可されています。

- 本製品の取付け方：前向き（進行方向）
本製品は以下の座席に取付け可能です。



◎ 正しい設置位置

✕ 誤った設置位置

① エアバッグが装備されていなければ設置可能

② ISOFIX 取付バーある場合のみ設置可能

取付け方法	座席条件	使用
進行方向 (前向き)	前座席：エアバッグを装備していない	取付け条件が満たされれば、取付けは可能ですが、本製品は運転席より後ろの座席に取付けることをおすすめします。 やむを得ず、前座席に取付ける場合は座席シートを一番後ろに下げた状態で取付けてください。
	前座席：エアバッグを装備している	
	後部座席の両側の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	後部座席の真ん中の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	進行方向に対して横向きの座席	取付け不可
	進行方向に対して後ろ向きの座席	取付け不可

シートベルトの条件



注意

シートベルトの種類により取付けできない場合があります。
シートベルトの種類は、車両取扱説明書を確認してください。

本製品は、UN/ECE 規則 NO.16 準拠している、または他同等の基準を満たしている3点式シートベルトを装備した車両に限り、使用に適しています。シートベルトの種類により取付け方が異なったり、取付けられない場合があります。



使用可能なシートベルト

- 3点式手動調節シートベルト
- 3点式巻取り装置付きシートベルト



警告

ベビーシートモード・チャイルドシートモードで取付ける際は、必ず、ISOFIX とサポートレッグで固定してください。
ジュニアシートモードは車両シートベルトのみでも取付けが可能ですが、ひもなどでは固定しないでください。必ず車両シートベルトで固定してください。



ポイント

車種適合表につきましては下記 URL より確認してください。
<http://www.nebio.jp/childseat/>

シートベルトの種類と特徴		取付け方法及び注意事項
種類	特徴	
ELR 付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされます。	ゆっくりシートベルトを引き出してください。
ALR/ELR 付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付きです。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトの ALR 機能を作動させないでください。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。
その他	上記特徴にあてはまらないもの	本製品は使用できません。

取付けできない座席



注意

下記条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席への設置・使用は不可

※下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合は設置・使用をしないでください。

- フロントエアバッグ装備の座席。
※サイドエアバッグのみの場合は使用可能です。
- 進行方向に対して、横向きまたは後ろ向きの座席。
- 座面の形状に高低差があり、取付けた際に不安定になる座席。
- 極端なバケットシート。
※座面の中心部分が深く凹んでいる座席。
- シートベルトが付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- パッシブシートベルトの付いた座席。
※パッシブシートベルトとは
⇒車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置。
- 座席の凹凸が極端で、取付けた際に不安定になる座席。
- シートベルトに損傷がある座席。
- 座席以外のピラーやドアなどの車両構造物に本製品が接触する座席。



ポイント より安全に使用していただくために、後部座席での使用をおすすめします。

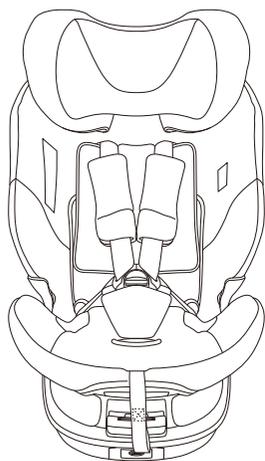


注意

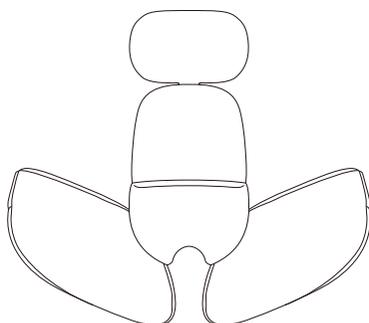
本革の座席に使用すると、取付け跡が残る場合があります。

梱包内容

生産工程上、小さな樹脂片が本体内部に残り、傾けるとカラカラと音がする場合がありますが、使用・構造上の安全性に問題はありません。安心してご使用ください。



本体



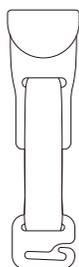
インナークッション

※本体に付属されています



ベビーサポート

※本体(インナークッション上)に付属されています



腰ベルトポジショナー

※本体座面カバー下のバックル収納ボックス内に収納されています



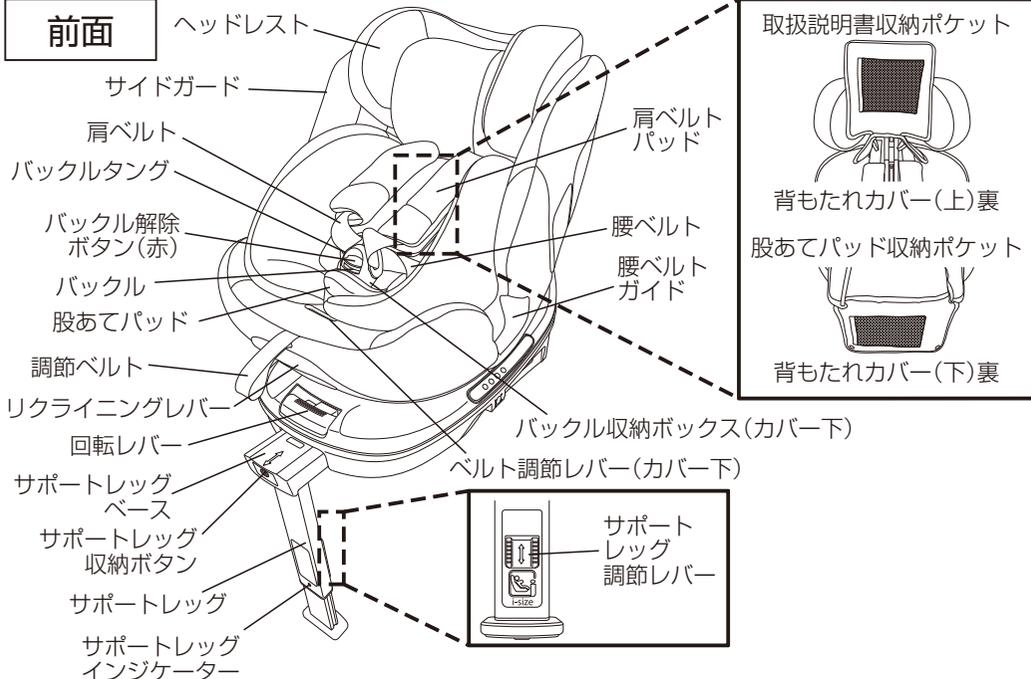
ISOFIX キャップ×2

《5点式ハーネスとは》

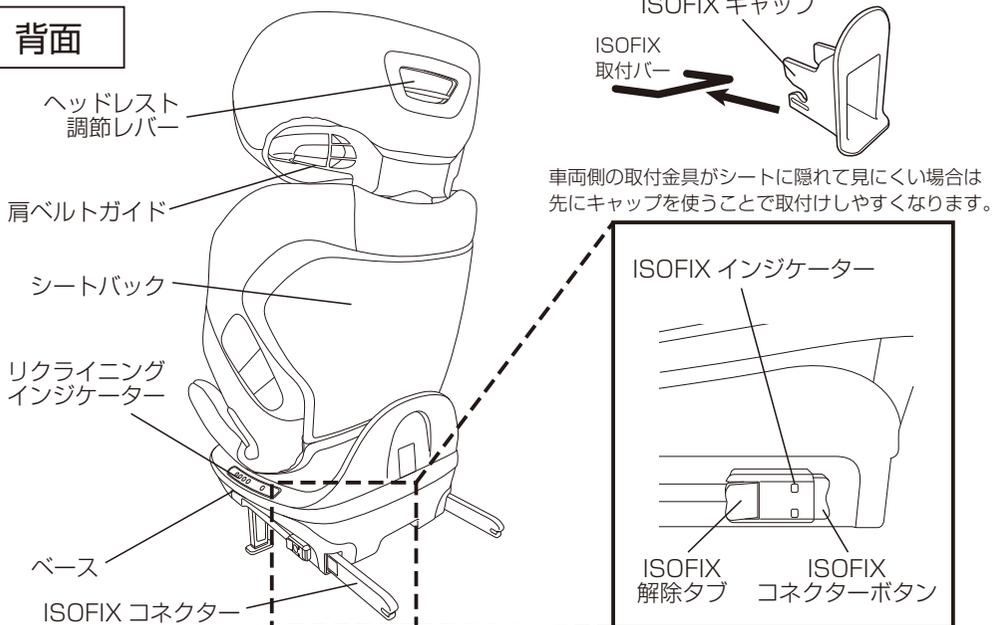
【肩ベルト】・【腰ベルト】・【バックル】をまとめて5点式ハーネスと呼びます。

各部の名称

前面



背面

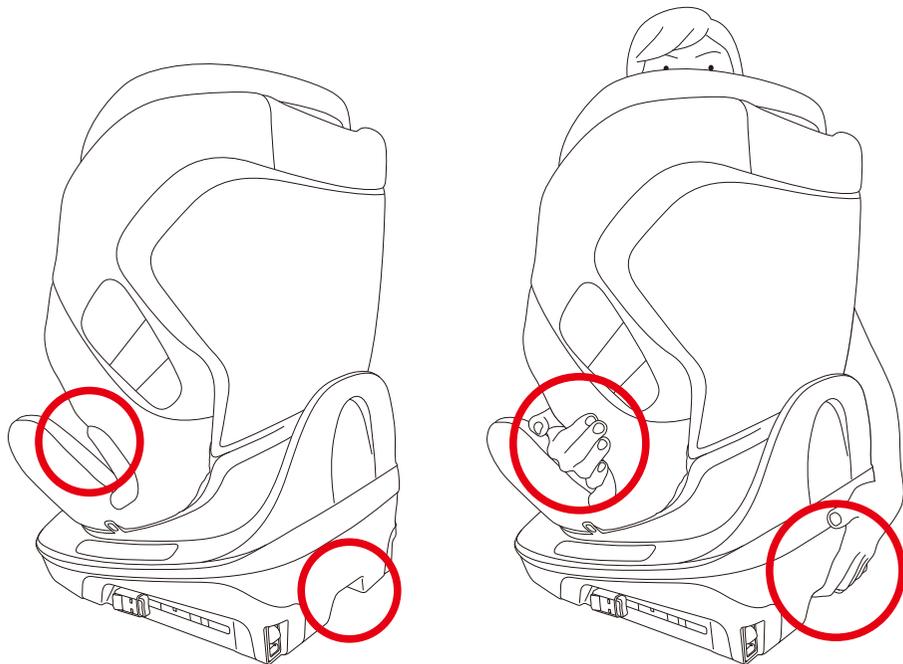


チャイルドシートの移動時の持ちかた

警告

- 持ち運びの際は、周囲に注意し物などにぶつからないよう注意してください。
※サポートレッグが不意に開いたり伸びたりし、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- サポートレッグ収納ボタンや、回転レバー付近は持たないでください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。

持ち運びの際は、【腰ベルトガイド付近】と【ベースの後方中心部分】を持ってください。



注意

上記以外の部品を持つと、破損や落下の事故につながるおそれがあります。

警告

お子さまを乗せた状態で、持ち運ばないでください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまの身長に合わせた使用方法

※本製品は 360 度回転する、子ども用拘束チャイルドシートです。

ECE R129/03 に合格

モード	ベビーシート モード	チャイルドシート モード	ジュニアシートモード	
使用の条件	身長：40～105cm 体重：18kg 以下	身長：76～105cm 体重：18kg 未満 月齢：15 ヶ月以上	身長：100～150cm	
使用の状態				
取付け方法	ISOFIX+サポートレグ +5点式ハーネス		ISOFIX +車両シートベルト +腰ベルトポジションナー	車両シートベルト +腰ベルトポジションナー
取付け方向	進行方向後向き ※身長 65cm 未満のお子さまは、必ず全てのインナークッションを使用してください。 ※ベビーサポートはお子さまの体格に合わせて適宜使用してください。	進行方向前向き ※インナークッション・ベビーサポートは使用しないでください。	進行方向前向き	
 警告		お子さまの月齢が15カ月を超え、尚且つ身長が76cm 以上になるまでは、進行方向前向きで使用しないでください。		



危険

本製品のインナークッション・ベビーサポートは、誤った取扱いをすると本来の機能をはたさず大変危険です。

必ず本書のP23(インナークッション)を確認し正しく使用してください。



注意

取外したインナークッション・ベビーサポートは車内に放置しないでください。車内に転がって運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

サポートレッグ

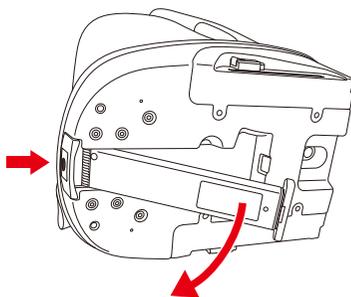
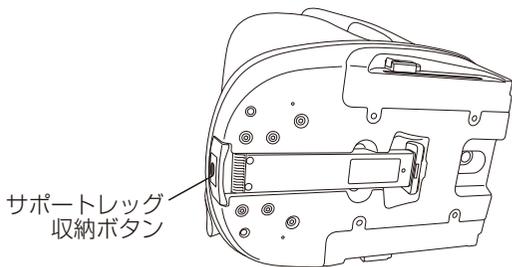
取出し方法



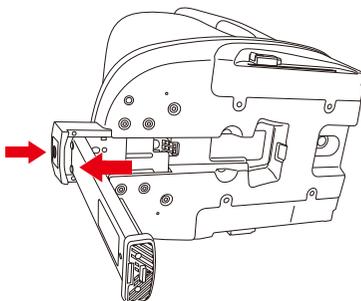
▶ 動画で解説

サポートレッグ
の取出し方法

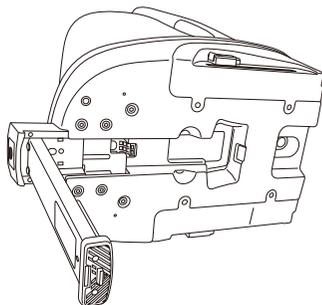
- ①周囲の安全を確認し、広いスペースに本体を横に寝かせてください。
- ②サポートレッグ収納ボタンを押しながらサポートレッグを起こしてください。



- ③サポートレッグ収納ボタンを押しながら手前に引き、サポートレッグベースを引き出してください。



- ④サポートレッグが完全に起きた状態でサポートレッグベースが完全に引き出され固定されていることを確認してください。



注意

手や指などをはさまないように注意してください。けがをす
るおそれがあります。



注意

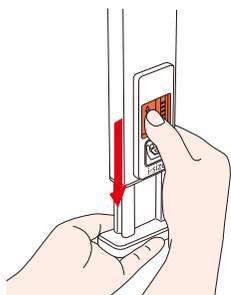
サポートレッグを起こしたり、ベースを引き出す際は必ず、サポートレッグ収納ボタ
ンを押しながら操作してください。無理に操作すると破損するおそれがあります。

設置・調節方法

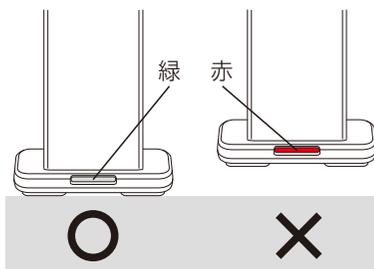


▶ 動画で解説
サポートレッグ
の設置・調節方法

①サポートレッグ裏側にある調節レバーを下げながらサポートレッグをのばしてください。



②車両の床面に接するまでのばします。車両の床面に設置完了すると、サポートレッグインジケーターが「赤」⇒「緑」にかわります。



危険

必ずインジケーターが「緑」になるようサポートレッグを調節してください。



警告

飲食物やゴミなどが入りサポートレッグの調節ができない場合は使用をしないでください。本来の機能をはたさず大変危険です。

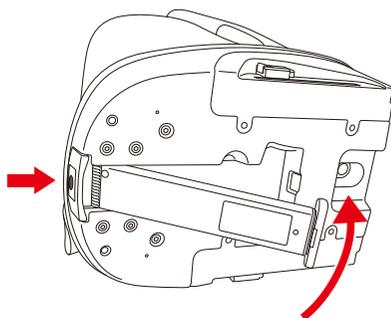
収納方法



▶ 動画で解説
サポートレッグ
の収納方法

①サポートレッグの調節レバーを下げながらサポートレッグを短くしてください。

②サポートレッグ収納ボタンを押しながらサポートレッグベースを戻し、サポートレッグは倒して収納してください。



注意

手や指などをはさまないように注意してください。けがをすることがあります。



注意

サポートレッグを起こしたり、ベースを引き出す際は必ず、サポートレッグ収納ボタンを押しながら操作してください。無理に操作すると破損するおそれがあります。

リクライニングの操作方法

本製品はお子さまの成長に合わせて、《前向き4段階》《後向き1段階》で角度を調節することができます。



▶ 動画で解説
リクライニング
の操作方法

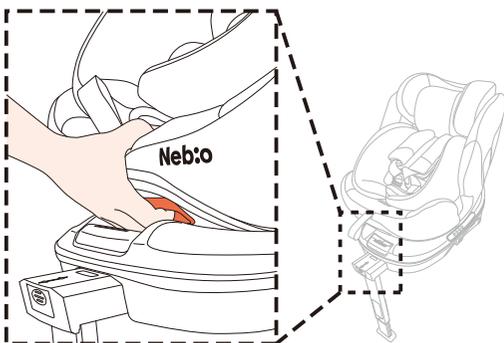
①座席前面の裏面にあるリクライニングレバーを手前に引きながらシートのリクライニング角度を調節してください。

<後向きでの使用>

リクライニングは必ず一番倒した状態で使用してください。

一旦前向きでリクライニングを「4」の位置にあわせてから、本体を後向きに回転させてください。回転後は、自動的に進行方向後向き「5」の位置にセットされます。

後ろ向きでご使用の際は、リクライニング角度を必ず「5」の位置に合わせてください。



警告

操作後、シートが固定されていることを確認してください。
(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



注意

- リクライニング操作時は、お子さまの指や手を近づけないよう十分注意してください。指や手がはさまれ、けがををするおそれがあります。また、同乗者の手元も同様に十分注意してください。
- ゴミや飲食物が入ると故障の原因になります。

進行方向後向き	進行方向前向き				
身長 40 ~ 105cm	身長 76 ~ 150cm				
5	1	2	3	4	



注意

お子さまの身長が 76cm 未満の場合は、絶対に進行方向前向きで使用しないでください。必ず【進行方向後ろ向き】で使用してください。

シートの回転方法

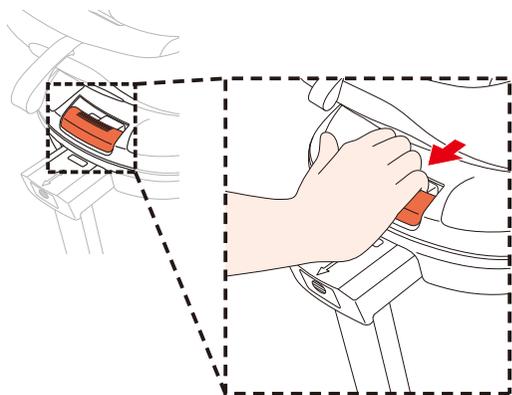
本製品はお子さまの乗せ降ろしをしやすいように、シートを回転させることができます。



動画で解説
シートの
回転方法

ポイント シートの回転時に車両シートが干渉して回転しづらい場合は車両のシートを干渉しない程度に倒してから回転してください。

- ①図のように回転レバーを手前に引きながら座席を回転させてください。
- ②動きはじめたら回転レバーから手を離し、「カチッ」と音がしロックされる位置まで座席を回転させてください。
- ③ロック音がし回転が完了したら、必ずシートを左右にゆすり固定されていることを確認してください。



危険

- お子さまが乗った状態で回転される場合はゆっくりと回転させてください。
- 進行方向後向き・進行方向前向きでの使用にはそれぞれ、身長制限があります。ご使用前に必ず条件を確認してください。

ポイント 90度回転進行方向横向きは、お子さまの乗せ降ろしの際に使用してください。

警告

- シートを横向きにしたまま走行しないでください。本来の機能をはたさず、大変危険です。
- 走行中は回転操作を絶対にしないでください。



注意

回転操作時はお子さまの指や手などを近づけないよう十分注意してください。指や手などがはさまれ、けがをするおそれがあります。また、同乗者の手元も同様に十分注意してください。

ISOFIX での取付け方法

取付ける前の準備

サポートレッグを起してください(P14 参照)。

ポイント ※設置・調節は ISOFIX 取付け後にします。

車両側ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートが正しく取付けられない場合は、車両側ヘッドレストを最上段に固定するか、車両側ヘッドレストを外してください。



注意

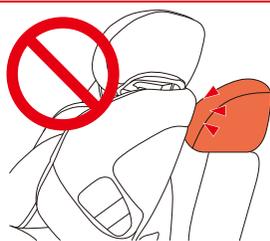
取外したヘッドレストは車内に放置せず、トランクルーム等で保管してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

車両側のヘッドレストが本製品に干渉した状態で取付けしないでください。

※本製品が確実に固定できず、衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります。



ISOFIX 取付け方法



動画で解説

ISOFIX の
取付け方法

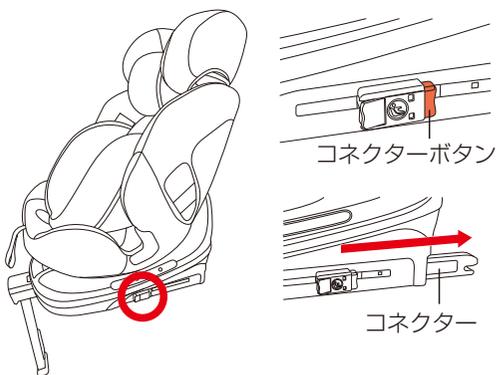
①車両側の ISOFIX 取付けバーの位置を確認してください。



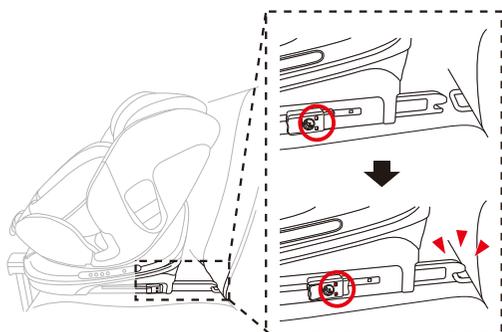
ポイント

ISOFIX 取付けバーが車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属の ISOFIX キャップを使用することでチャイルドシートが取付けやすくなります(図参照)。
※車のシートによっては ISOFIX キャップが取付けられない場合があります。
その場合は、ISOFIX キャップを使用せずにチャイルドシートを取付けてください。

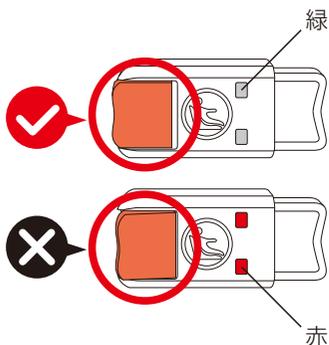
②ISOFIX コネクターボタンを押してコネクターを最大限まで引き出してください。



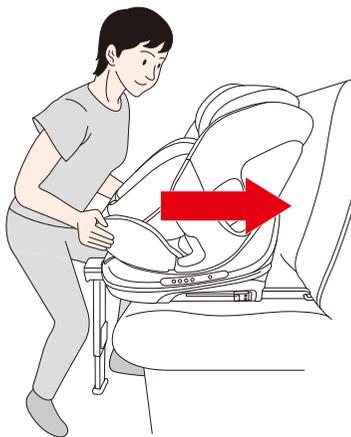
③ISOFIX コネクターを車両側の ISOFIX 取付けバーに2本同時に「カチッ」と音がするまで真っ直ぐ差し込んでください。



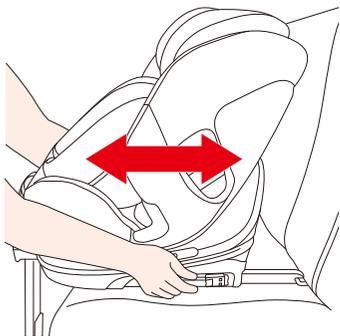
④ISOFIX インジケーターが2本とも「緑」になっていること、ISOFIX 解除タブが倒れていることを確認してください。



⑤「カチッ」と音がしなくなるまで車両シート側へ密着するようしっかり押し込んでください。



⑥チャイルドシート本体の左右を持ち前後に動かして、車両シートに固定されているか確認してください。



警告

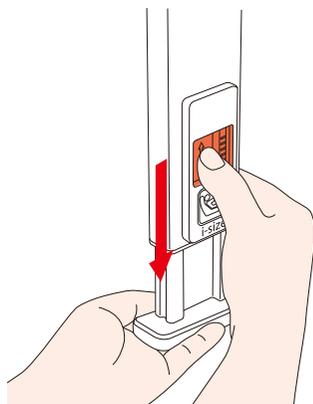
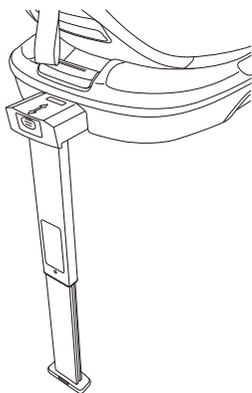
チャイルドシートの左右を持ちながら、チャイルドシート本体が車両背もたれに接するまで強く押し込んでください。
※「カチッ」と音がしなくなるまで車両シート側へしっかりと押し込む。

サポートレッグの設置・調節方法

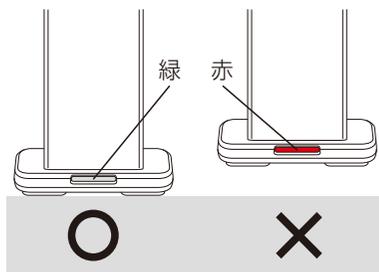


動画で解説
サポートレッグ
の設置・調節方法

- ①サポートレッグの設置準備が出来ているか確認してください(P14 参照)。
- ②サポートレッグ調節レバーを下にさげながら、もう片方の手でサポートレッグをのぼしてください。



- ③車両の床面に接地するまでのぼします。車両の床面に接地完了すると、サポートレッグインジケーターが「赤」⇒「緑」にかわります。



警告

必ずインジケーターが「緑」になるようサポートレッグをのぼしてください。

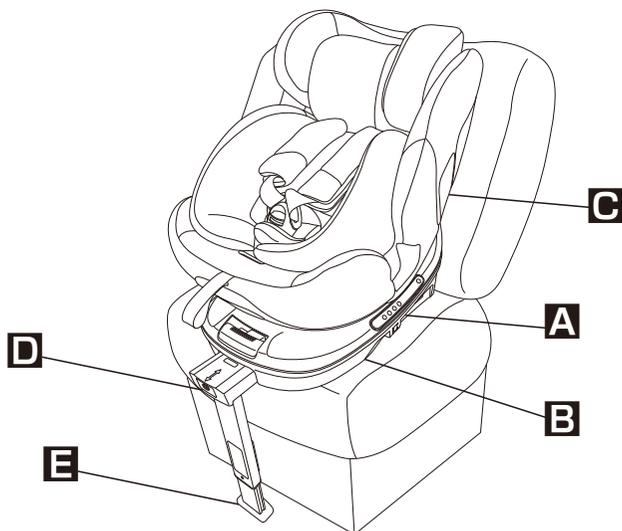


危険

安全のため、走行中にお子さまが乗っていない場合も、必ず ISOFIX や車両シートベルトで固定してください。

チェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- A** ISOFIX コネクターが車両側の ISOFIX 取付けバーに固定され、ISOFIX インジケーターが2本とも緑になっていること（「カチッ」と音がしなくなるまでしっかりと押し込む）。
- A** ISOFIX 解除タブが倒れ、平行になっていること。
- B** 本体底面が、しっかりと座面に接していること。
- C** 本体のシートバックが、車両背もたれにしっかりと密着していること。
- D** サポートレッグが完全に起きた状態で、サポートレッグベースが完全に引き出され固定されていること。
- E** サポートレッグが床面に接地し、サポートレッグインジケーターが「緑」になっていること。



危険

サポートレッグを調節する際、本体底面は座面にサポートレッグは床面にそれぞれ接するように設置してください。



ISOFIX の取外し方法

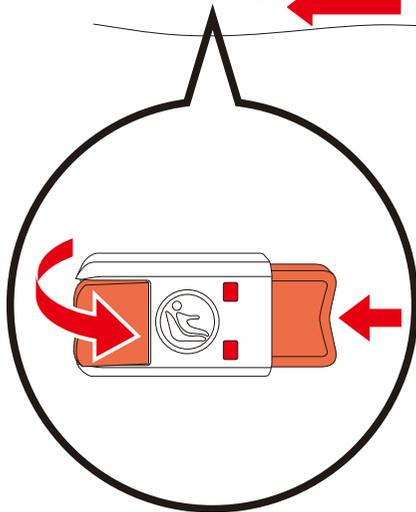
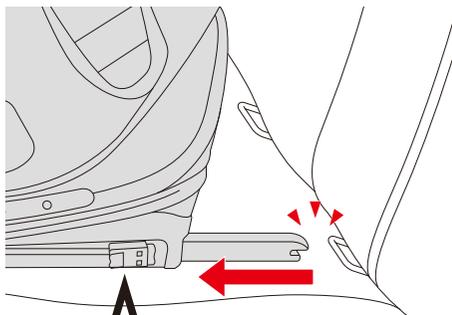


動画で解説

ISOFIX の
取外し方法

①左右の ISOFIX 解除タブを起こしながら、同時に ISOFIX コネクターボタンを押し、ISOFIX コネクターを車両 ISOFIX バーから外してください。

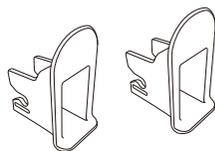
②ISOFIX コネクターボタンを押しながら、本体側へスライドさせ、ISOFIX コネクターを取納してください。



 **ポイント** ISOFIX のロックが解除されると、ISOFIX インジケーターが「赤」に変わります。

 **注意**

ISOFIX キャップはなくさないよう大切に保管してください。



インナークッション



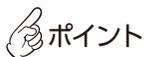
警告

身長65cm未満のお子さまは、必ず全てのインナークッションを使用してください。



警告

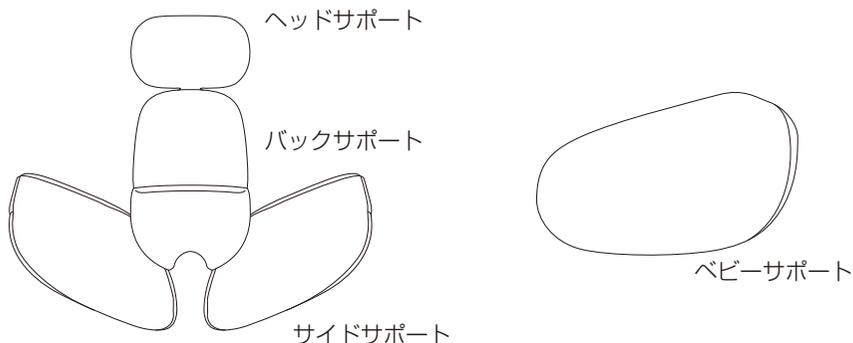
身長76cm以上のお子さまは、インナークッション・ベビーサポートを使用しないでください。



ポイント

身長65～76cm未満のお子さまは、窮屈に感じたらインナークッションで調節し、使用してください。

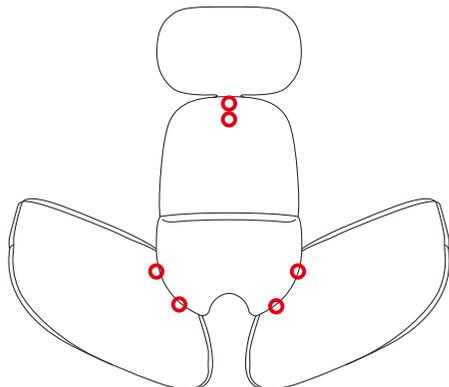
インナークッションの各部の名称



インナークッション

インナークッションは、お子さまが成長し窮屈な状態になったら、取り外すか調節して使用してください。

※赤○部分にあるボタンの付け外しで調節可能です。

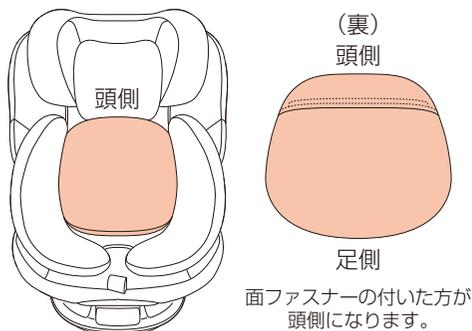


ベビーサポート

ベビーサポートは後向き(ベビーシートモード)でのみ使用可能です。

お子さまの体格にあわせて適宜使用してください。

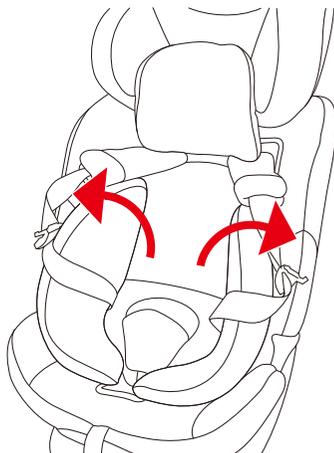
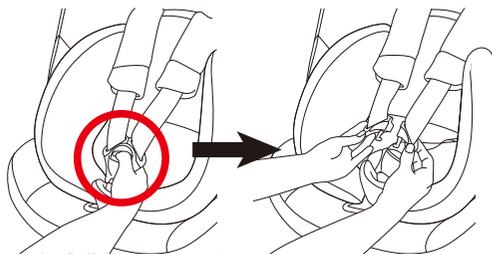
※前向きで設置する際は、必ず取り外してください。



インナークッションの取外し方法

①バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタンクを外します。

②肩ベルトを外側へ移動しインナークッションを引き抜いてください。



インナークッション・ベビーサポートは、必ず正しい向きで使用してください。
向きが異なっていると、製品所定の安全機能を発揮できないおそれがあります。

肩ベルトの調節方法



警告

- かさばった服を着せたまま、使用しないでください。
- 肩ベルトと腰ベルトを正しい位置に装着してください。



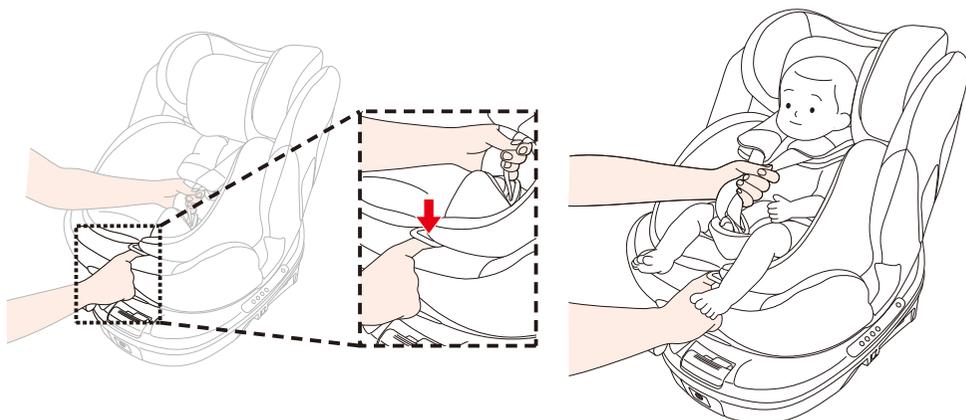
▶ 動画で解説
肩ベルトの
調節方法



ポイント 肩ベルトパッドを引いても肩ベルトはゆるみません。

肩ベルト・腰ベルトをゆるめる方法

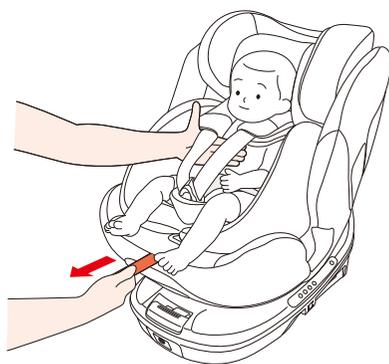
①ベルト調節レバーを片手で押しながら、もう片方の手で左右の肩ベルトを引っ張ります。



肩ベルト・腰ベルトをしめる方法

①肩ベルト・腰ベルトにゆるみがないか確認し、調節ベルトを引っ張ってください。

※肩ベルトと腰ベルトのゆるみは大変危険です。お子さまと肩ベルトのすきまは、手のひらが入る程度に調節してください。



警告

- 必ず肩ベルトと腰ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと衝突時にお子さまがシートから飛び出すおそれがあります。
- 肩ベルトと腰ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付いて窒息するおそれがあります。

バックルの取付け・取外し方法



動画で解説

バックルの
取付け・
取外し方法



- バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしております。
- バックルタングは左右、組み合わせてからバックルに差し込んでください。組み合わせないと差し込めません。

- ①バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタングを外してください。
- ②お子さまをチャイルドシートに深く座らせてください。
※インナークッションをご使用の際は、インナークッションにあわせてお子さまを深く座らせてください。
- ③お子さまの左右の腕を肩ベルトに通します。



注意

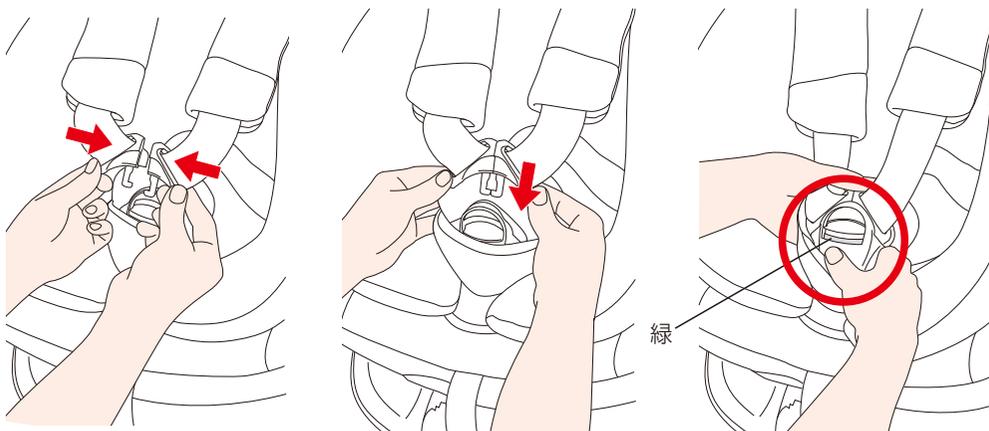
左右の肩ベルトがねじれていないことを確認してください。

- ④左右のバックルタングを組み合わせてください。
- ⑤組み合わせてから「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。バックルに差し込みが完了するとバックルが「緑」にかかります。



注意

バックルタングを差し込む際、股あてパッドが挟まっていないか確認してください。



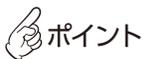
警告

- タングを差し込んだ際、バックルが緑の表示になったことを必ず確認してください。
- タングを差し込んでも、バックルが緑の表示にならない場合は、絶対に使用しないでください。

ヘッドレスト(肩ベルト)の高さ調節と位置の目安



動画で解説
ヘッドレスト
の高さ調節



ポイント

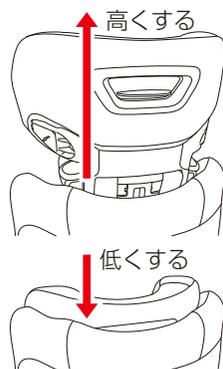
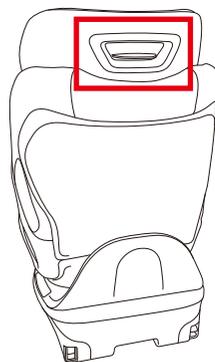
ヘッドレストの調節は肩ベルトをゆるめてから行う必要があります。
※肩ベルトの調節は、P25 を参照してください。

ヘッドレストの位置は8段階で調節可能です

①ヘッドレストを高くする準備として肩ベルトをゆるめてください(P25 参照)。

※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません。

②ヘッドレスト調節レバーを引き上げて肩ベルトを正しい高さ調節してください。



③適切な位置でヘッドレスト調節レバーから手を離してください。

④ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認してください。



注意

ヘッドレストと肩ベルトの高さは進行方向によって異なります。
肩ベルトは図 a の位置を目安に調節してください。

肩ベルト位置の目安

ヘッドレストを適切な位置に調節してください。

その目安はお子さまの肩とヘッドレストのすきまに指一本くらいとなります。

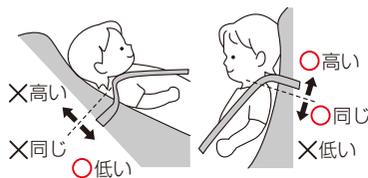


図 a



ベビーシートモード(進行方向後向き)の使用方法「身長 40～105cmまで」



警告

お子さまの月齢が【15 ヶ月】を超え、尚且つ身長【76cm】以上になるまでは、必ず進行方向後向きで使用してください。



▶ 動画で解説
ベビーシート
モードの
使用方法

使用条件

- お子さまの身長が76cmになるまでは必ず進行方向後向きで使用してください。
- お子さまの体格が合えば、身長 105cm まで進行方向後向きで使用可能です。
- 身長 65cm 未満のお子さまは「全てのインナークッション」を使用し、「ベビーサポート」はお子さまの体格にあわせて適宜使用してください。
※窮屈に感じたらお子さまの成長や体格にあわせて調節してください。

お子さまを乗せる前の準備



警告

本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。
※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

①「全てのインナークッション」がついているか確認。

※身長 65 ～ 76cm 未満のお子さまは、インナークッションが窮屈に感じたら取り外すか、ボタンの付け外しで調節してください(インナークッションP23 参照)。

②本製品が正しくお車に取付けできているか確認。

- ISOFIX コネクターは「緑」の表示で、しっかり奥まで差し込んでいること。
(ISOFIX の取付け方法 P 18 参照)
- サポートレッグが「緑」の表示で、正しく設置できていること。
(サポートレッグの設置・調節方法 P 15 参照)
- リクライニングの角度は【進行方向後向き】になっていること。
(リクライニングの操作方法 P 16 参照・シートの回転方法 P 17 参照)

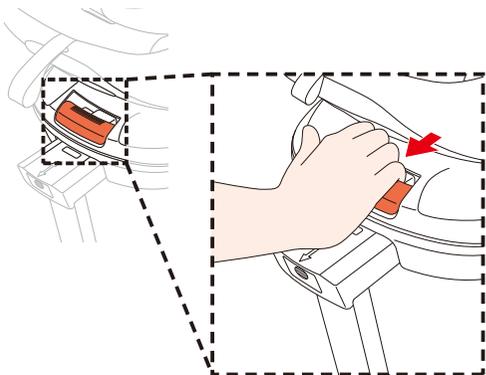


警告

- お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの乗せかた

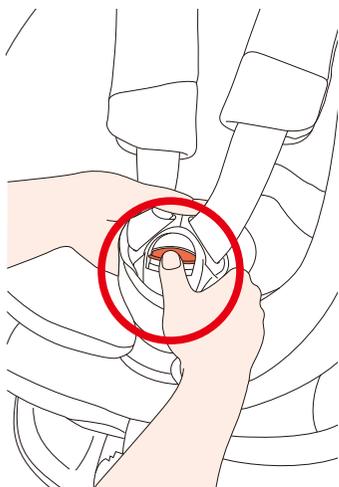
①お子さまを乗せやすくするため、必要に応じて乗せやすい方向へチャイルドシートを回転させてください(P17 参照)。



②肩ベルトをゆるめてください。
※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません(P25 参照)。



③バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタンクを外してください(P26 参照)。



④お子さまを深く座らせて、左右の肩ベルトにお子さまの腕を通してください。



警告

お子さまを必ず、正しい姿勢で乗せてください。
誤った姿勢で乗せているとお子さまを正しく固定できず、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが本製品より飛び出し思わぬ事故につながるおそれがあります。
必ず正しい姿勢で乗せてください。



⑤左右の肩ベルトにねじれがないかを確認し、左右のバックルタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。

※肩ベルト・腰ベルトがきつい場合は無理にバックルを差し込まず肩ベルトをゆるめてください。

差し込み後、バックルが「緑」の表示になっていることを確認してください。



ポイント •バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしております。



注意

バックル差し込み後は、必ずバックルが「緑」の表示になっていることを確認してください。

肩ベルトの高さ



警告

肩ベルトの高さ調節をおこなう際、お子さまが肩ベルトで締めつけられるおそれがあります。

お子さまを乗せて高さ調節をする際は、肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業をおこなってください(P27 参照)。

①お子さまを乗せてから、肩ベルトの高さを確認し、調節してください(図a参照)。

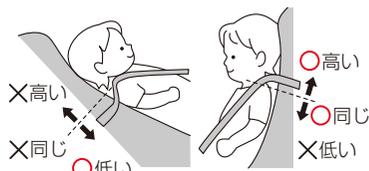
※調節前に肩ベルトにゆとりがあることを確認してからおこなってください。



危険

•進行方向後向きでのご使用時は、お子さまの肩よりも低い位置で使用してください。

※お子さまの肩より高い位置で使用されますと、お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節をおこなってください。

肩ベルト・腰ベルトの長さ調節

①肩ベルトとお子さまの間に、手のひらが入る程度に長さを調節してください(P25 参照)。



⚠️ 注意

調節ベルトを引っ張る際、肩ベルトが強くしまるおそれがあります。勢いよく引っ張らないようにしてください。

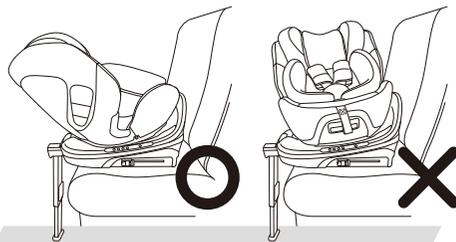
シートの回転

①チャイルドシートを進行方向後向きに回転させ、固定してください(P17 参照)。

②回転完了後、必ずシートを左右にゆすり固定されていることを確認してください。

⚠️ 危険

- 進行方向横向きは、お子さまの乗せ降ろしの際に使用してください。
- 走行中は必ず【進行方向後向き】で使用してください。



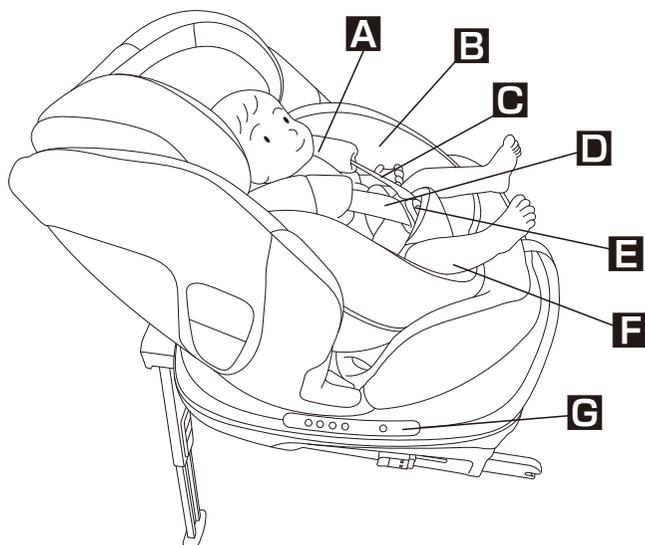
⚠️ 警告

• お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。

※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- A** 肩ベルトが正しい位置に調節されていること。
- B** インナークッション・ベビーサポートが正しく取付けられていること。
- C** 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること(手のひらが入る程度)。
- D** 肩ベルト・腰ベルトにねじれがないこと。
- E** 左右のバックルタンクが「カチッ」と音がするまでバックルに差し込まれ、バックルの表示が緑になっていること。
- F** お子さまが正しい位置で座っていること。
- G** リクライニング進行方向後向き【5】になっていること。



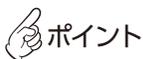
危険

肩ベルトはお子さまの肩よりも低い位置で使用してください。お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

身長**65cm未満**のお子さまは、必ず全てのインナークッションを使用してください。



ポイント

- 身長 65～76cm 未満のお子さまは、窮屈に感じたらインナークッションで調節し、使用してください。
- ベビーサポートはお子さまの体格にあわせて適宜使用してください。

チャイルドシートモード(進行方向前向き)の使用方法「身長 76~105cmまで」



お子さまの月齢が【15ヵ月】を超え、尚且つ身長【76cm】以上になってから【進行方向前向き】で使用してください。身長100cm以下のお子さまは必ずバックルを使用してください。



▶ 動画で解説
チャイルドシートモードの使用方法

使用条件

- お子さまの身長が76cm以上であること。
- 「全てのインナークッション・ベビーサポート」は使用しないでください。
- 身長100cm以下のお子さまは必ずバックルを使用してください。

お子さまを乗せる前の準備



本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。
※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

チャイルドシートが正しく車両に取付けできているか確認。

- ISOFIX コネクターは「緑」の表示で、しっかり奥まで差し込んでいること。(ISOFIX の取付け方法 P 18 参照)
- サポートレッグが「緑」の表示で、正しく設置できていること。(サポートレッグの設置・調節方法 P 15 参照)

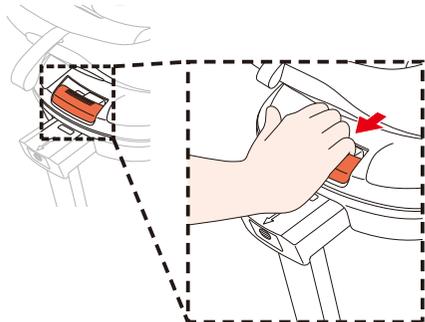


- お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

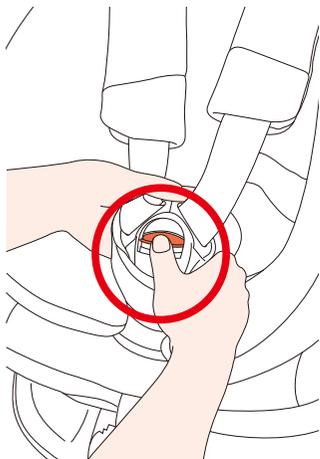
お子さまの乗せかた

①お子さまを乗せやすくするため、必要に応じて乗せやすい方向へチャイルドシートを回転させてください(P 17 参照)。

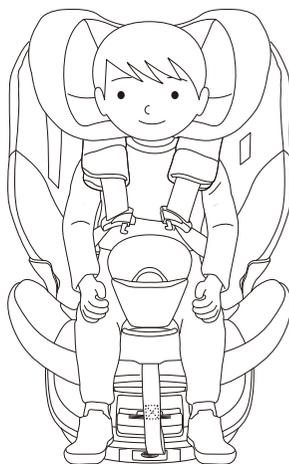
②肩ベルトをゆるめてください。
※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません(P 25 参照)。



③バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタンクを外してください(P26 参照)。



④お子さまを深く座らせて、左右の肩ベルトにお子さまの腕を通してください。



警告

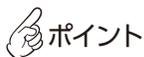
お子さまを必ず、正しい姿勢で乗せてください。

誤った姿勢で乗せているとお子さまを正しく固定できず、急ブレーキ時や衝突時に
お子さまが本製品より飛び出し思わぬ事故につながるおそれがあります。
必ず正しい姿勢で乗せてください。

⑤左右の肩ベルトにねじれがないかを確認し、左右のバックルタンクを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。

※肩ベルト・腰ベルトがきつい場合は無理にバックルを差し込まず肩ベルトをゆるめてください。

差し込み後、バックルが「緑」の表示になっていることを確認してください。



ポイント

・バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしてお
ります。



注意

バックル差し込み後は、必ずバックルが「緑」の表示になっていることを確認してく
ださい。

肩ベルトの高さ



警告

肩ベルトの高さ調節をおこなう際、お子さまが肩ベルトで締めつけられるおそれがあります。

お子さまを乗せて高さ調節をする際は、肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業をおこなってください(P27 参照)。

①お子さまを乗せてから、肩ベルトの高さを確認し、調節してください(図a 参照)。

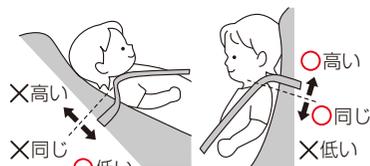
※調節前に肩ベルトにゆとりがあることを確認してからおこなってください。



危険

・進行方向後向きでの使用時は、お子さまの肩よりも低い位置で使用してください。

※お子さまの肩より高い位置で使用されますと、お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。



図a



注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節をおこなってください。

肩ベルト・腰ベルトの長さ調節

①肩ベルトとお子さまの間に、手のひらが入る程度に長さを調節してください(P25 参照)。



注意

調節ベルトを引っ張る際、肩ベルトが強くなりおそれがあります。勢いよく引っ張らないようにしてください。

シートの回転

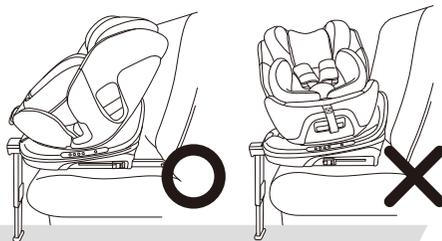
①チャイルドシートを進行方向前向きに回転させ、固定してください(P17 参照)。

②回転完了後、必ずシートを左右にゆすり固定されていることを確認してください。



危険

- ・進行方向横向きは、お子さまの乗せ降ろしの際に使用してください。
- ・走行中は必ず【進行方向前向き】で使用してください。



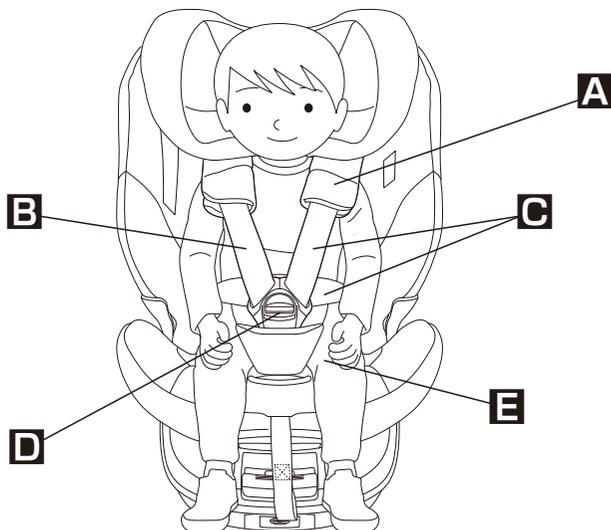


警告

- お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。
- ※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- A** 肩ベルトが正しい位置に調節されていること。
- B** 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること(手のひらが入る程度)。
- C** 肩ベルト・腰ベルトにねじれがないこと。
- D** 左右のバックルタングが「カチッ」と音がするまでバックルに差し込まれ、バックルの表示が緑になっていること。
- E** お子さまが正しい位置で座っていること。



警告

バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないように、ECE R129/09の安全基準に則り固くしておりますがお子さまが成長すると、自身で外してしまうおそれがあります。バックルは絶対に触ったり外さないよう、注意してください。



注意

・お子さまを降ろした際、必ずバックルタングはバックルに差し込んだ状態にしてください。



危険

肩ベルトはお子さまの肩よりも高いまたは同じ位置で使用してください。お子さまの肩より低い位置で使用されると、装着時、不快になったり、衝撃時、肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

全てのインナークッション・ベビーサポートは使用しないでください。

ジュニアシートモード(進行方向前向き)の使用法「身長100~150cmまで」



警告

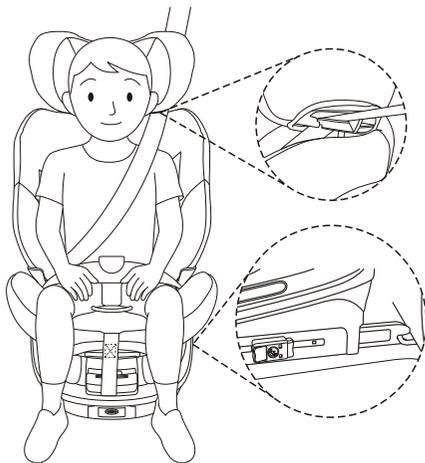
身長 100 ~ 150cm くらいのお子さまであること。

※身長 100cm 以下のお子さまは、必ず5点式ハーネスで拘束する「チャイルドシートモード」で使用してください。

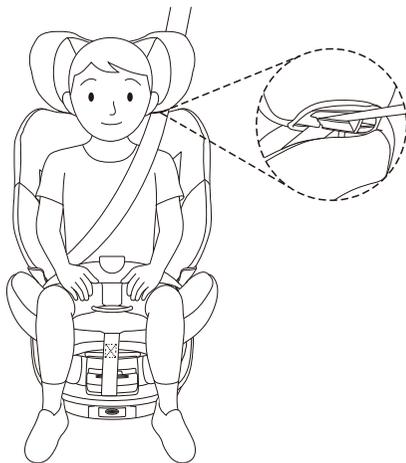
車両への取付け方法

ジュニアシートモードはお車の座席に合わせて、下記のどちらかの方法で取付けてください。

車両シートベルト + ISOFIX + 腰ベルトポジショナー



車両シートベルト + 腰ベルトポジショナー



注意

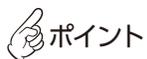
お子さまが乗っていない場合でも本製品を車両シートベルトで固定してください。

※走行中の急ブレーキや衝突時の衝撃などでけがをしたり、運転の妨げになる可能性があります。



ISOFIX を使用しない場合には、ISOFIX コネクタは一番縮めた状態でご使用ください。ISOFIX コネクタが突出した状態で使用すると車両シートを傷つけてしまう可能性があります。

ジュニアシートモードへの準備



ポイント

「全てのインナークッション」・「ベビーサポート」は使用しないでください。



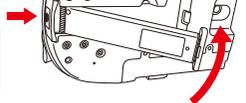
動画で解説

ジュニアシートモードへの準備



ポイント

ジュニアシートモードではサポートレッグは使用しないので、収納してください(P15 参照)。



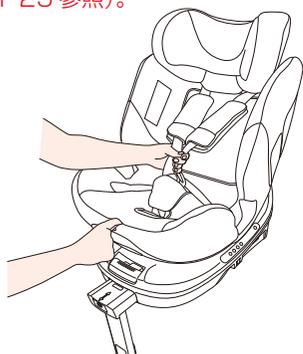
ポイント

肩ベルトを長めに引き出しておくと作業がしやすくなります。

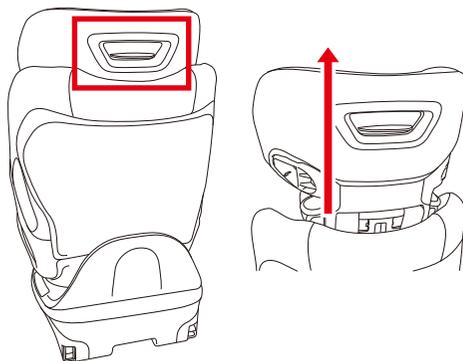
肩ベルト・バックルの収納

①肩ベルトをゆるめてください。

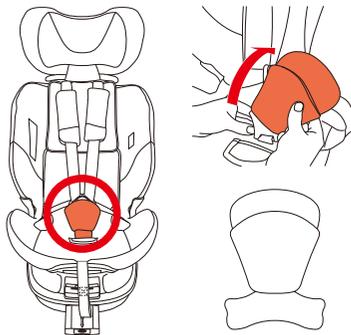
※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません(P25 参照)。



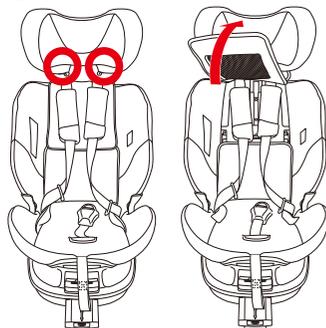
②ヘッドレストを一番高い位置まであげてください。



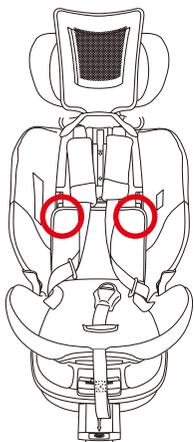
③バックルを解除し、股あてパッドを外してください。



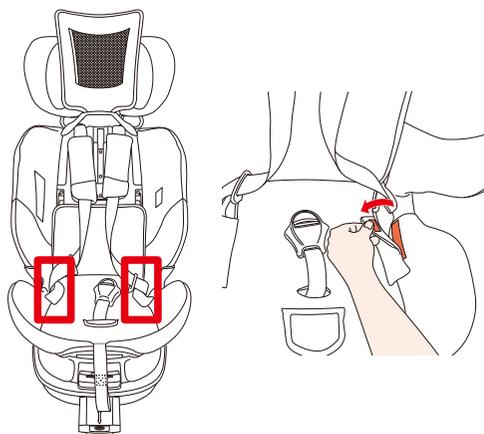
④赤○部分にあるボタン2箇所を外し、背もたれカバーを持ち上げてください。



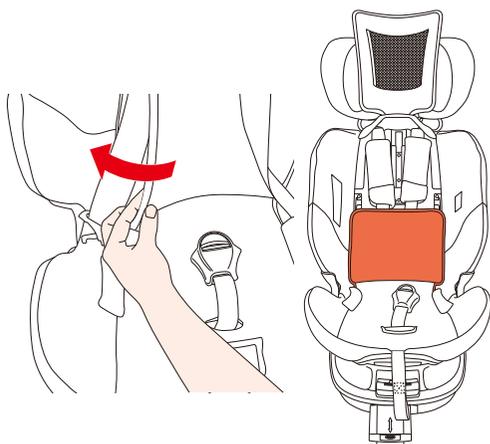
⑤背もたれの上部2箇所にあるボタンを外してください。



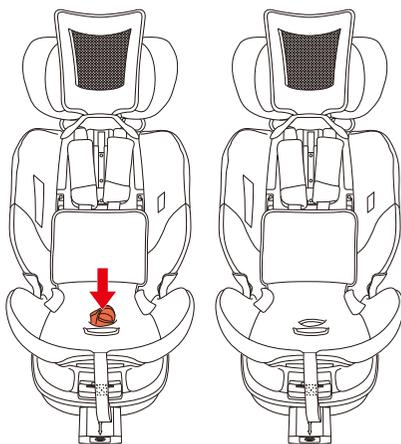
⑥座面カバーの左右にある面ファスナーを外してください。



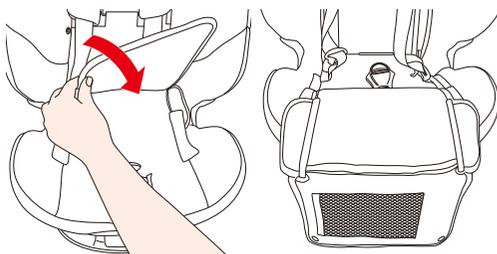
⑦背もたれカバー(下)を、肩ベルトの手前に移動させてください。



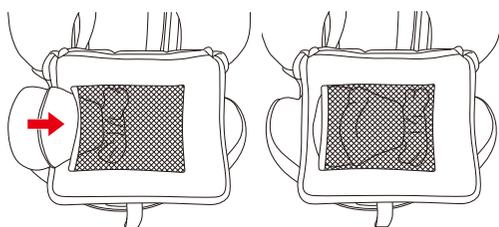
⑧バックルを隙間から下へ押し込んで入れてください。



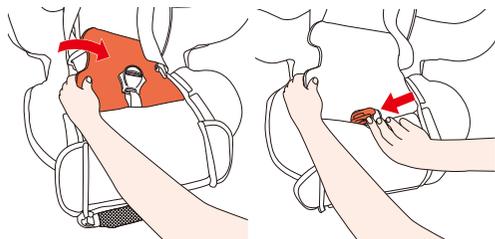
⑨背もたれカバー(下)を手前にめくってください。



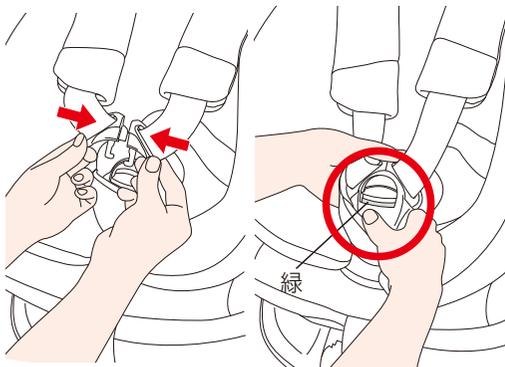
⑩背もたれカバー(下)の内側にあるメッシュポケットに股あてパッドを入れてください。



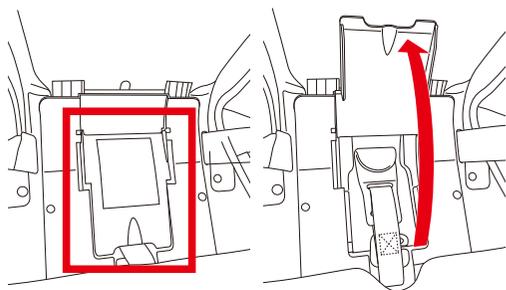
⑪ウレタンを手前にめくり、バックルを隙間から下へ押し込んで入れてください。



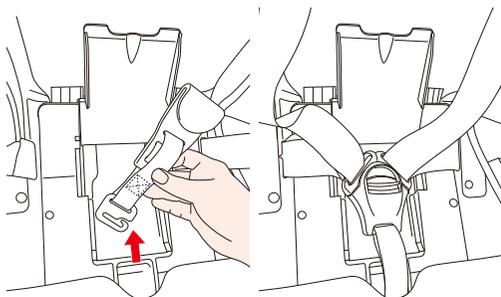
⑫バックルタングを合わせて、バックルに差し込んでください。



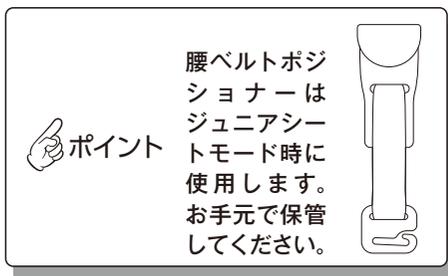
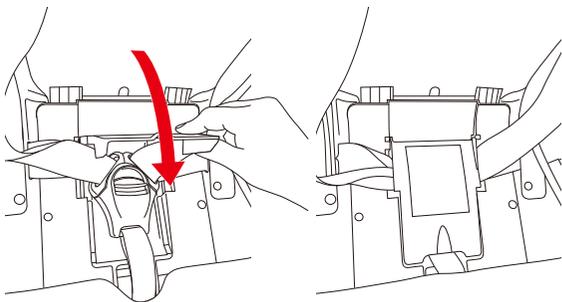
⑬座面カバーの下にあるバックル収納ボックスを開けてください。



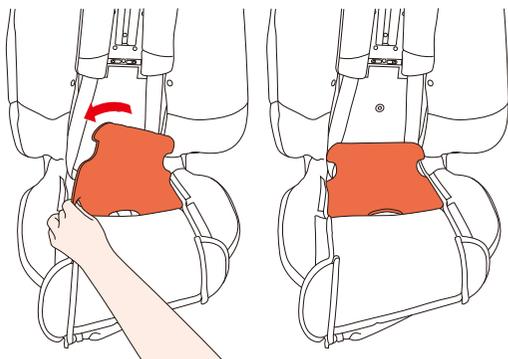
⑭収納ボックスから、腰ベルトポジショナーを取り出し、バックルを収納してください。



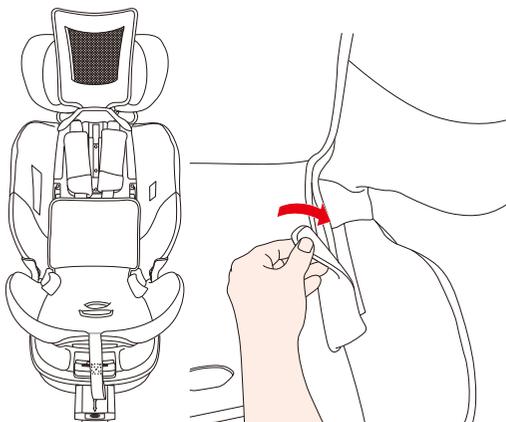
⑮収納ボックスを閉めてください。



⑯ウレタンを元の位置に戻してください。

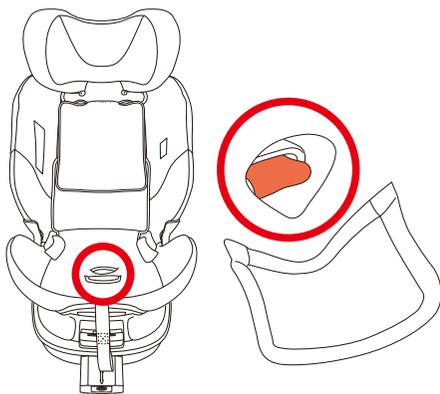
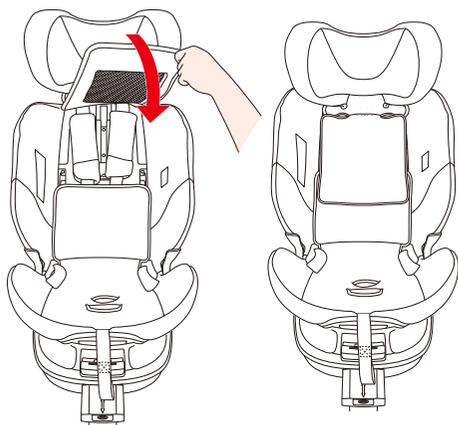


⑰背もたれカバー(下)を元の位置に戻して座面カバー左右の面ファスナーをとめてください。

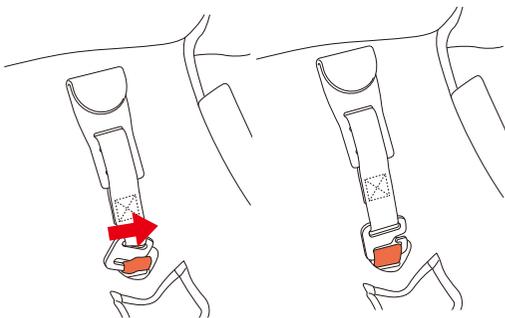


⑱背もたれカバー(上)を元の位置に戻してください。

⑲バックル穴付近にあるオレンジのベルトの位置を確認してください。



⑳オレンジのベルトに腰ベルトポジショナーを取付けてください。



⚠ 注意

ご使用の都度、腰ベルトポジショナーが外れないか、しっかり取付けが出来ているか確認してください。

ジュニアシートモード(ISOFIX+車両シートベルト+腰ベルトポジショナー)



警告

ジュニアシートモードでは【サポートレッグは使用しません】サポートレッグは収納してください。



動画で解説

ジュニアシートモードの使用方法



警告

ジュニアシートモードは、お子さまの身長が【100cm】以上になってから使用してください。

※身長 100cm 以下のお子さまは、必ず5点式ハーネスで拘束する「チャイルドシートモード」で使用してください。

使用条件

- お子さまの身長が 100cm 以上であること。
- 身長 100cm 以下のお子さまは、必ず5点式ハーネスを使用してください。

□ お子さまを乗せる前の準備



警告

本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。

※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。

お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

チャイルドシートが正しく車両に取付けできているか確認。

□ISOFIX コネクターは「緑」の表示で、しっかり奥まで差し込んでいること。
(ISOFIX の取付け方法 P 18 参照)

□5点式ハーネスを収納していること。
(ジュニアシートモードへの準備 P 39 参照)

※【肩ベルト・腰ベルト・バックル】をまとめて5点式ハーネスと呼びます。

□ヘッドレストを一番高い位置に調節していること。
(ヘッドレスト<肩ベルト>の高さ調節と位置の目安 P 27 参照)



警告

• お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。

※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節をおこなってください。



ポイント

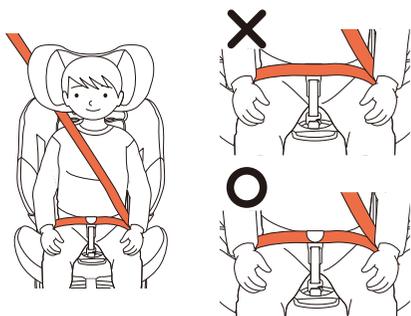
ジュニアシートモードでは、本製品の5点式ハーネスは使用せず、車両シートベルトでお子さまを拘束します。
(肩ベルト・バックルの収納 P 39 参照)

□ お子さまの乗せかた

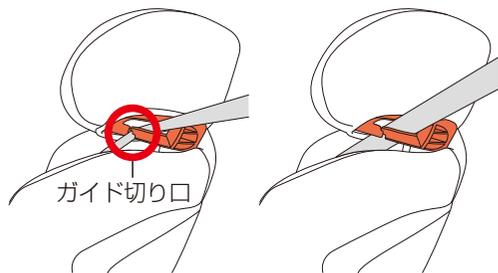
①お子さまを深く座らせてください。



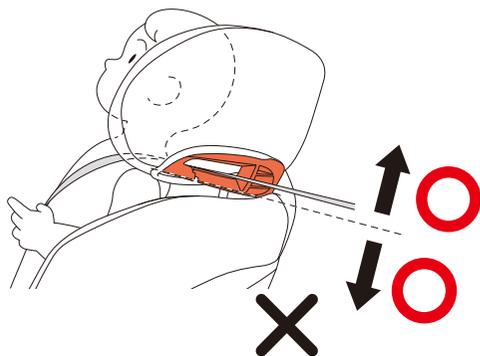
②車両シートベルト（腰ベルト）を腰ベルトポジションナーと、腰ベルトガイドを通して、車両バックルに差し込んでください。



③車両シートベルトを肩ベルトガイドの切り口に通してください。

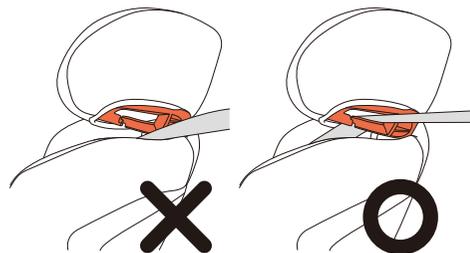


④ヘッドレストの高さ調節で、車両シートベルトをお子さまの肩と同じか、肩より高い位置にしてください。



⚠ 警告

車両シートベルトは必ず、肩ベルトガイドの中を通してください。



⚠ 危険

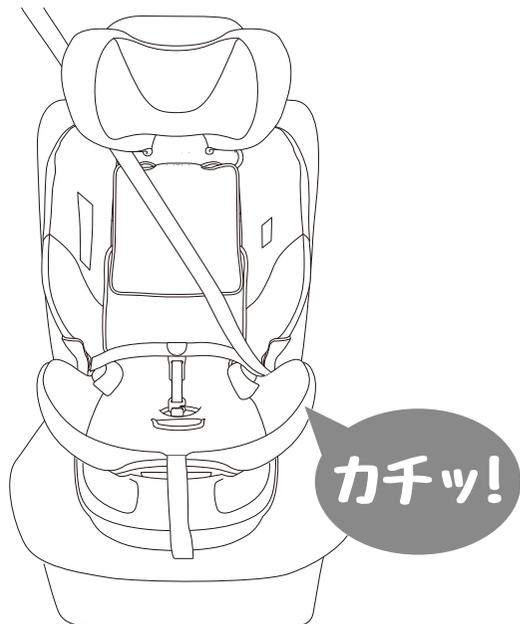
- 車両シートベルト（肩ベルト）がなじれていないことを確認してください。
- 肩ベルトガイドはお子さまの肩と同じ位の高さにしてください。

⚠ 警告

走行中や、ヘッドレストの高さ調節の際は、お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを必ず確認してください。

⚠ 危険

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり、外さないよう注意してください。

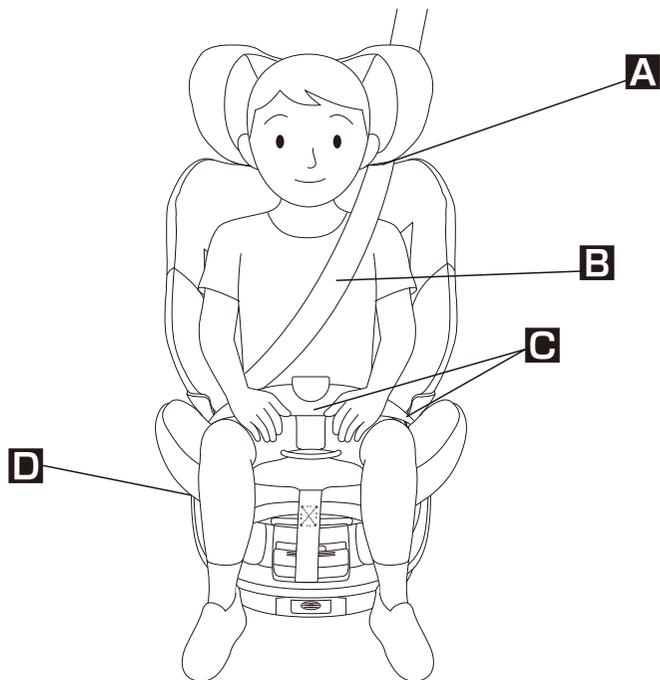


警告

- お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX と車両シートベルトで固定してください。
- ※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

□ 走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- A** ヘッドレスト、車両シートベルトの高さが正しい位置で調節され、車両シートベルトが、肩ベルトガイドの中を通過していること。
- B** 車両シートベルトにねじれやたるみがないこと。
- C** 車両シートベルト（腰ベルト）が、腰ベルトポジションナーと左右の腰ベルトガイドを通過していること。
- D** 車両シートベルトが車両バックルに確実に差し込まれていること。



警告

お子さまの首に車両シートベルトがかかっていることを、確認してください。



警告

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったりしないよう、注意してください。



警告

お子さまの肩が、肩ベルトガイドの位置より高くなった場合は、身長が適応範囲内でも、本製品の使用を中止してください。

ジュニアシートモード(車両シートベルト+腰ベルトポジションナー)



警告

ジュニアシートモードでは【サポートレッグは使用しません】サポートレッグは収納してください。



動画で解説

ジュニアシートモードの使用方法



警告

ジュニアシートモードは、お子さまの身長が【100cm】以上になってから使用してください。

※身長 100cm 以下のお子さまは、必ず5点式ハーネスで拘束する「チャイルドシートモード」で使用してください。

使用条件

- お子さまの身長が 100cm 以上であること。
- 身長 100cm 以下のお子さまは、必ず5点式ハーネスを使用してください。

お子さまを乗せる前の準備



警告

本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。

※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。

お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。



警告

• お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。

※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節をおこなってください。



ポイント

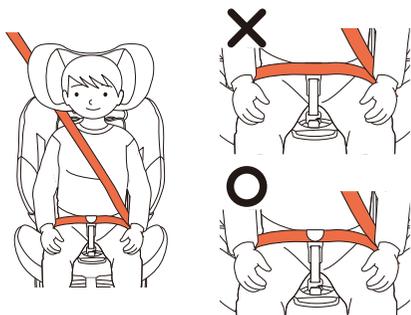
ジュニアシートモードでは、本製品の5点式ハーネスは使用せず、車両シートベルトでお子さまを拘束します。
(肩ベルト・バックルの収納 P39 参照)

□ お子さまの乗せかた

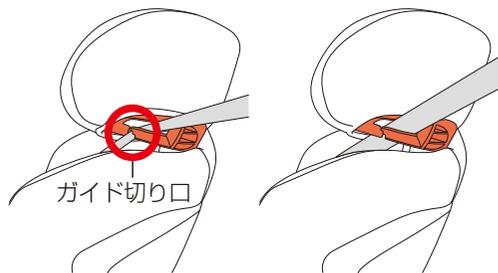
①お子さまを深く座らせてください。



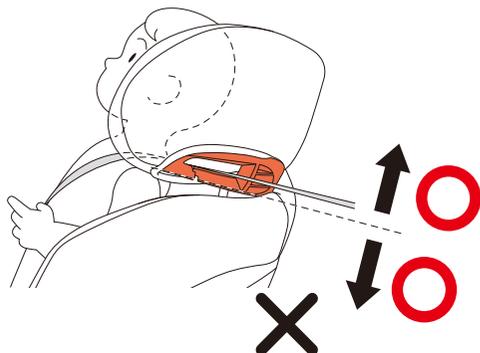
②車両シートベルト（腰ベルト）を腰ベルトポジションナーと、腰ベルトガイドを通るようにして、車両バックルに差し込んでください。



③車両シートベルトを肩ベルトガイドの切り口に通してください。

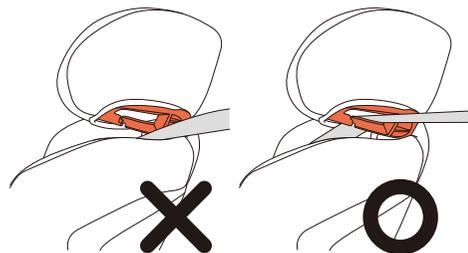


④ヘッドレストの高さ調節で、車両シートベルトをお子さまの肩と同じか、肩より高い位置にしてください。



⚠ 警告

車両シートベルトは必ず、肩ベルトガイドの中を通してください。



⚠ 危険

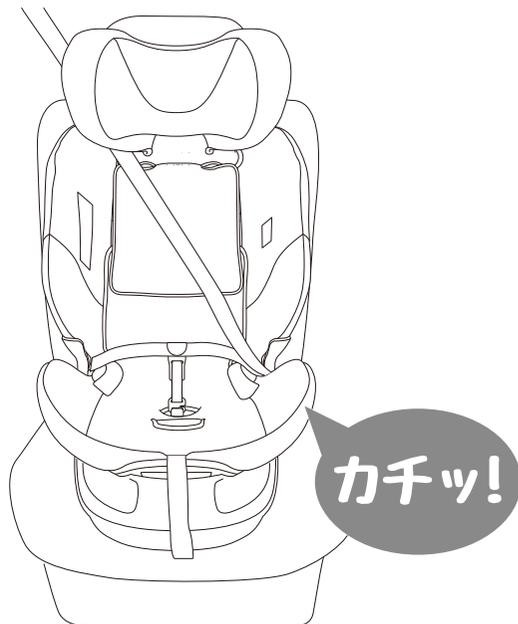
- 車両シートベルト（肩ベルト）がねじれていないことを確認してください。
- 肩ベルトガイドはお子さまの肩と同じ位の高さにしてください。

⚠ 警告

走行中や、ヘッドレストの高さ調節の際は、お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを必ず確認してください。

⚠ 危険

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり、外さないよう注意してください。



警告

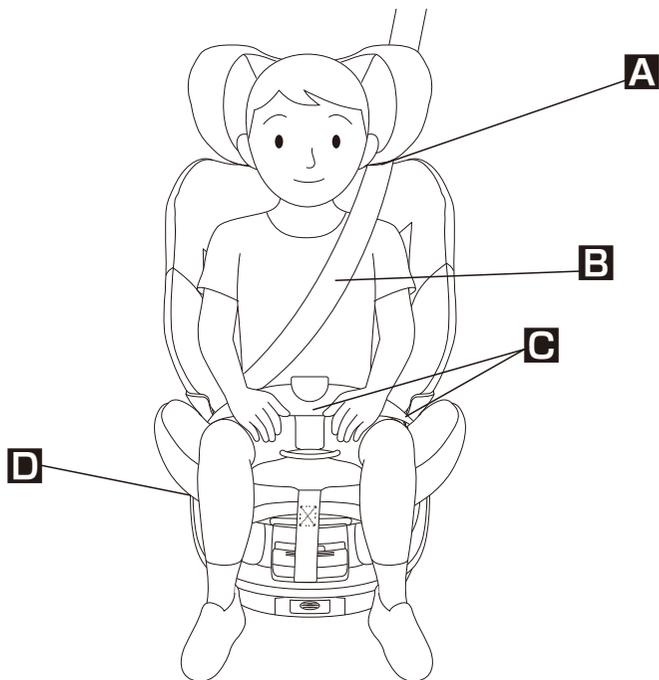
- お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。
- ※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。



ISOFIX を使用しない場合には、ISOFIX コネクタは一番縮めた状態でご使用ください。ISOFIX コネクタが突出した状態で使用すると車両シートを傷つけてしまう可能性があります。

□ 走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- A** ヘッドレスト、車両シートベルトの高さが正しい位置で調節され、車両シートベルトが、肩ベルトガイドの中を通過していること。
- B** 車両シートベルトにねじれやたるみがないこと。
- C** 車両シートベルト（腰ベルト）が、腰ベルトポジションナーと左右の腰ベルトガイドを通過していること。
- D** 車両シートベルトが車両バックルに確実に差し込まれていること。



警告

お子さまの首に車両シートベルトがかかっていることを、確認してください。



警告

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったりしないよう、注意してください。



警告

お子さまの肩が、肩ベルトガイドの位置より高くなった場合は、身長が適応範囲内でも、本製品の使用を中止してください。

車両からの取外し方法



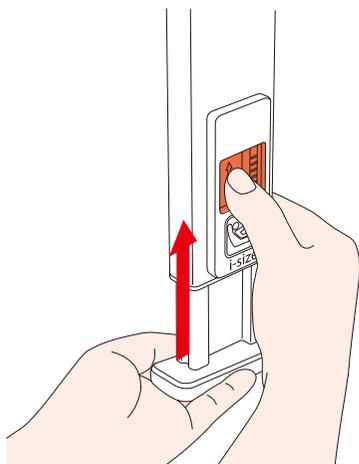
動画で解説
車両からの
取外し方法



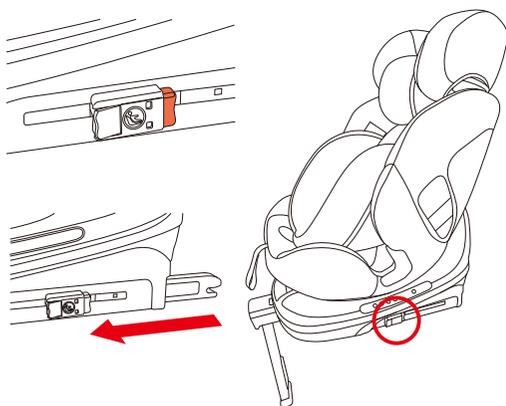
警告

本製品は、必ずお子さまを降ろした状態で車両から取外してください。
※お子さまを乗せた状態で取外すと、お子さまが落下し重大な事故につながるおそれがあります。

①サポートレッグ調節レバーを片手で「下げながら」、もう片方の手でサポートレッグを短く元に戻してください。



②ISOFIX コネクターボタンを「押しながら」真っ直ぐ手前に引き、ISOFIX を解除してください。
※反対側も同じ作業をしてください。

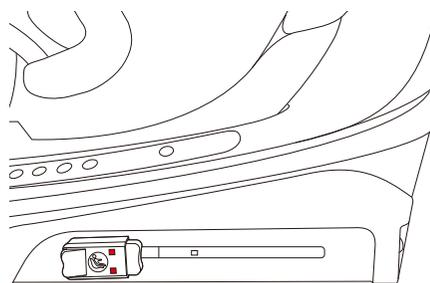


ポイント ISOFIXのロックが解除されると、ISOFIXのインジケーターは「赤」にか変わります。

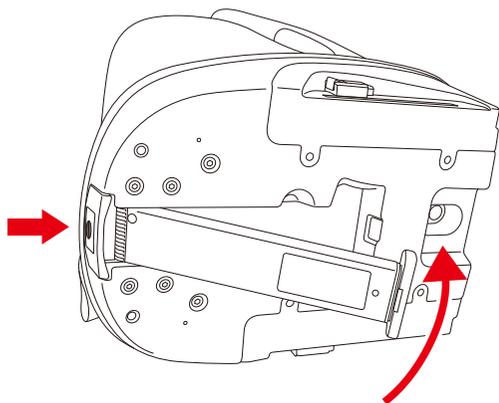


注意

- 作業が完了したら ISOFIX コネクターが完全に収納されていることを確認してください。
- ※収納されていない場合、破損やけがの原因となる可能性があります。



③サポートレッグ収納ボタンを押しながらサポートレッグベースを戻し、サポートレッグは倒して収納してください。



注意

手や指などをはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

注意

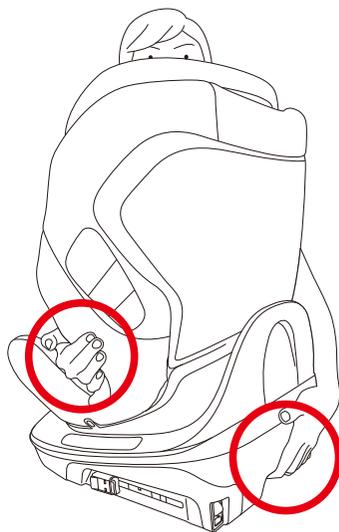
サポートレッグを起こしたり、ベースを引き出す際は必ず、サポートレッグ収納ボタンを押しながら操作してください。無理に操作すると破損するおそれがあります。

警告

移動の際は必ず、サポートレッグを収納してください。
サポートレッグを出したままの移動は、破損やけがにつながるおそれがあります

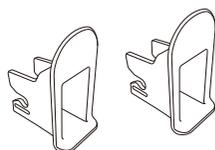
警告

- 本製品の肩ベルトやバックルを持って持ち上げたり、移動しないでください。部品の破損や本製品の落下で、思わぬ事故につながる可能性があります。
- 本製品を持って移動する場合は、必ず【腰ベルトガイド付近】と【ベースの後方中心部分】を持つようにしてください。



注意

ISOFIX キャップはなくさないよう大切に保管してください。



シートカバーの取外し方法

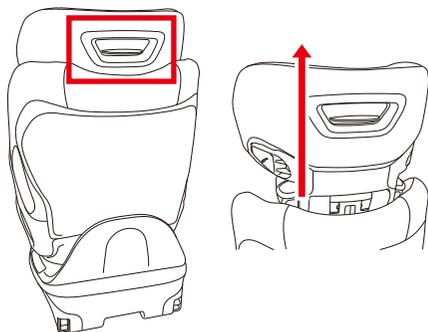


▶ 動画で解説
シートカバー
の取外し方法

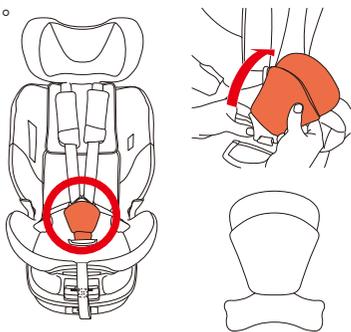
①肩ベルトをゆるめてください。



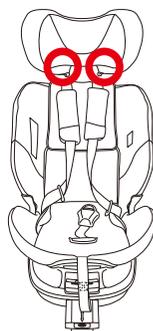
②ヘッドレストを一番高い位置まで引き上げてください。



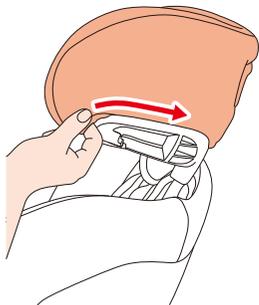
③バックルを解除し、股あてパッドを取外してください。



④赤○部分にあるボタン2箇所を外してください。



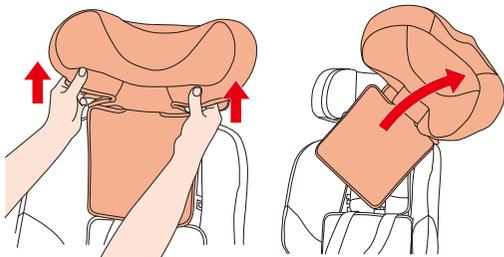
⑤肩ベルトガイドのまわりからカバーをゆっくり外してください(反対側も同様)。



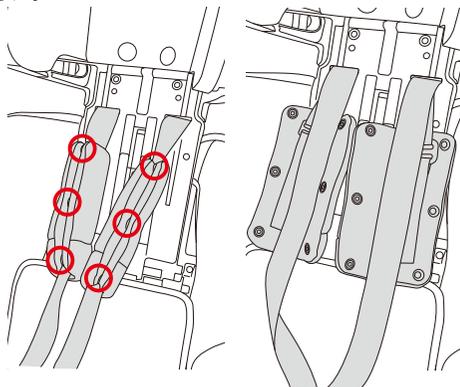
⑥ヘッドレスト調節レバーのまわりからカバーをゆっくり外してください。



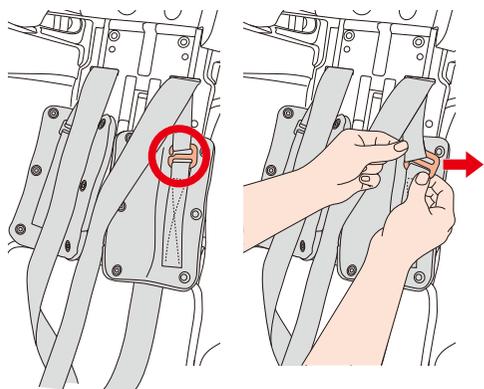
⑦ヘッドレストカバーを上方向にめくりカバーを外してください。



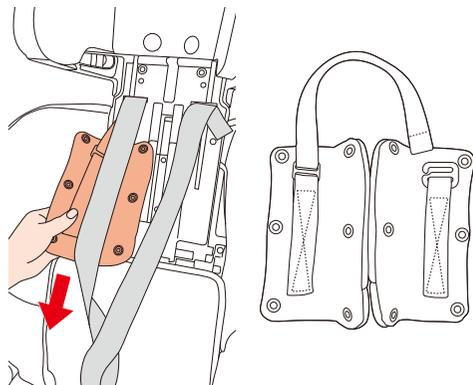
⑧肩ベルトパッド側面にあるボタンを外してください。



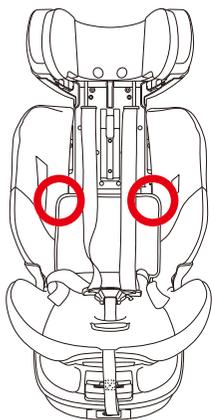
⑨肩ベルトパッド(内側)にあるフックからベルトを外してください。



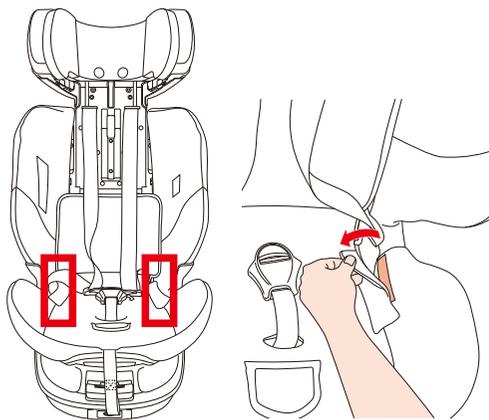
⑩肩ベルトパッドを手前に引き、ベルトを抜いて取外してください。



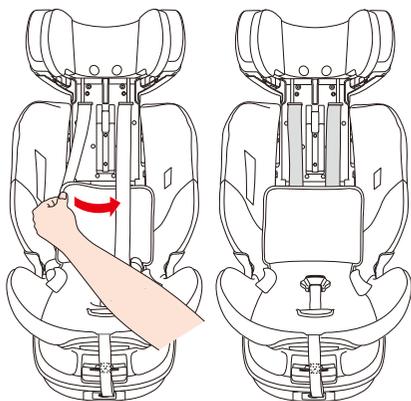
⑪背もたれの上部2箇所にあるボタンを外してください。



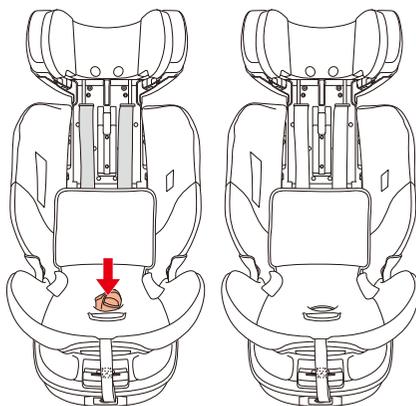
⑫座面カバーの左右にある面ファスナーを外してください。



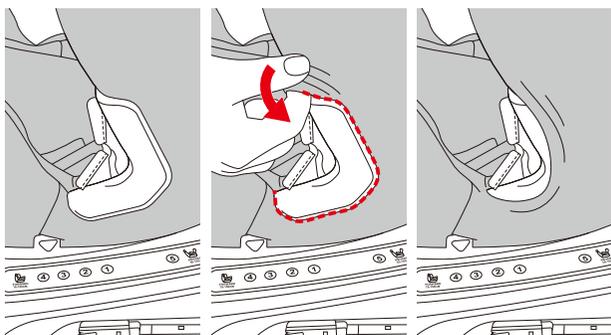
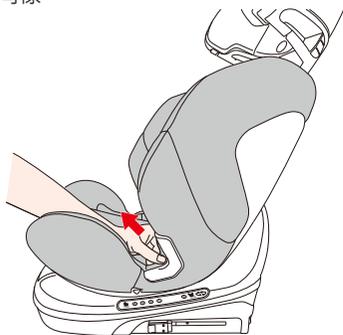
⑬背もたれカバー(下)を肩ベルトの手前に移動させてください。



⑭バックルを隙間から下へ押し込んで入れてください。



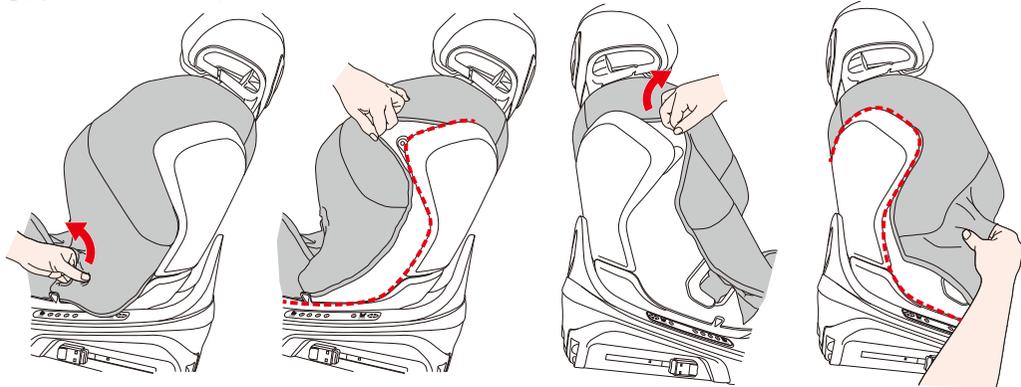
⑮腰ベルトガイド付近のカバーを外してください。※2箇所プラスチック芯があります。※反対側も同様



! 注意

プラスチック芯で指をけがし
ないように注意してください。

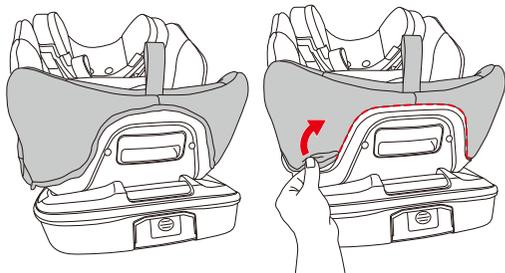
⑯側面のカバーを本体に沿って外してください。



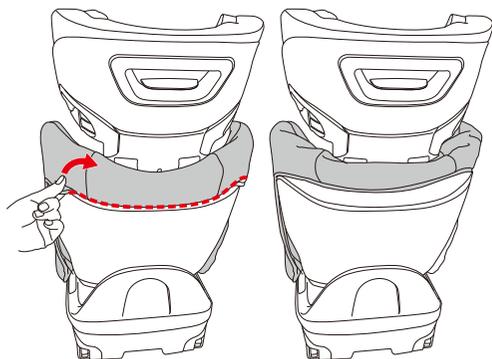
! 注意

カバーを取外す際、無理に引っ張らないようにしてください。
カバーが破れる可能性があります。

⑰リクライニングレバー付近のカバーを外してください。

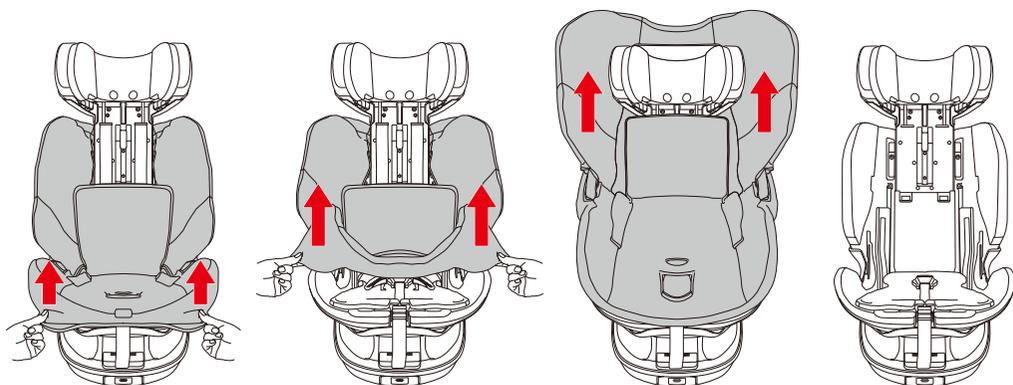


⑱背面のカバーを外してください。



⑲座面付近のカバーを持ち上げ、カバーを外してください。

※ヘッドレスト部分は、くぐらせながら外してください。



シートカバーの取付け方法

シートカバーの取付けは、取外しの逆手順となります。



注意

シートカバーを取外した状態で使用しないでください。



 動画で解説

シートカバーの
取付け方法

ベビーサポート・インナークッションの取付け方法

【ベビーサポート・ヘッドサポート・バックサポート・サイドサポートの取付けは、取外しの逆手順となります。】



 動画で解説

ベビーサポート
インナークッション
の取付け方法

お手入れ方法

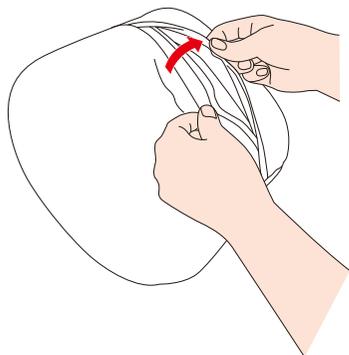
 **ポイント** インナークッションの各部の名称は(インナークッションP23)で確認してください。

ベビーサポート

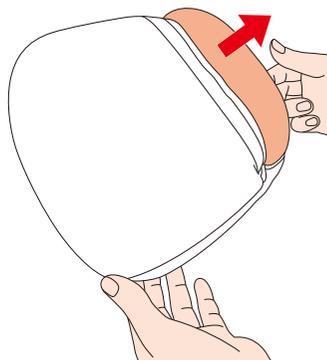


 **動画で解説**
ベビーサポート
のお手入れ

①裏面の面ファスナーを剥がしてください。



②クッションを取出してください。



注意

クッションを取出す際は、破れないよう注意してください。

注意

- クッションは洗濯出来ませんので、固く絞った布で汚れを拭き取るようにしてください。
- クッションは、必ず正しい向きで使用してください。向きが異なると製品所定の安全性能が発揮できないおそれがあります。

洗濯方法

注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。
カバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

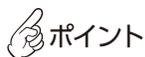
カバー部分のみ洗濯可能です(必ずクッションを取出してから洗濯してください)。

ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず【手洗い】してください。
洗濯後は、乾いた布等で拭き取ってから日陰で平干ししてください。

注意

- 洗濯機は使用しないでください。
- 洗濯時は必ずクッションを取出してから洗濯してください。

ヘッドサポート



ポイント

インナークッションの各部の名称は(インナークッションP23)で確認してください。

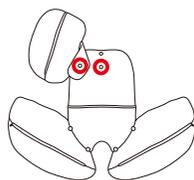


▶ 動画で解説
ヘッドサポート
のお手入れ



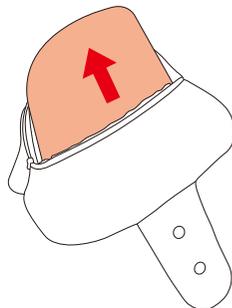
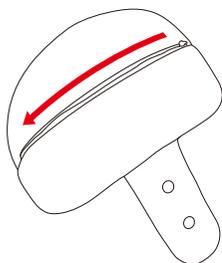
ポイント

ヘッドサポートは背面のボタンで取外し可能です。洗濯時は取外してください。



①裏面のファスナーを開けてください。

②クッションと中敷を取出してください。



注意

- クッションを取出す際は、破れないよう注意してください。
- 中敷を取出す際は、割れないよう注意してください。



注意

- クッションと中敷は洗濯出来ませんので、固く絞った布で汚れを拭き取るようにしてください。
- クッションと中敷は、必ず正しい向きで使用してください。向きが異なると製品所定の安全性能が発揮できないおそれがあります。

洗濯方法



注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。
カバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

カバー部分のみ洗濯可能です(必ずクッションを取出してから洗濯してください)。

ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず【手洗い】してください。
洗濯後は、乾いた布等で拭き取ってから日陰で平干ししてください。



注意

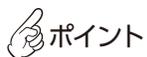
- 洗濯機は使用しないでください。
- 洗濯時は必ずクッションを取出してから洗濯してください。

バックサポート・サイドサポート



▶ 動画で解説

バックサポート
サイドサポート
のお手入れ



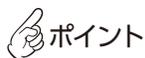
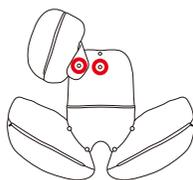
ポイント

インナークッションの各部の名称は(インナークッションの各部の名称P23)で確認してください。



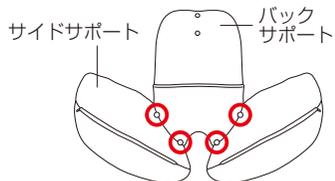
ポイント

ヘッドサポートは背面のボタンで取外し可能です。洗濯時は取外してください。



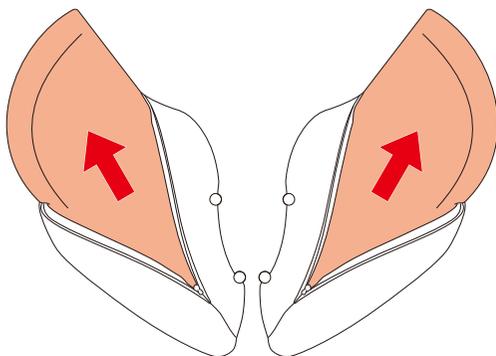
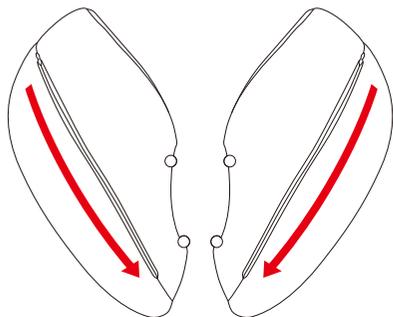
ポイント

バックサポートとサイドサポートは背面のボタンで取外し可能です。洗濯時は取外してください。



①裏面のファスナーを開けてください。

②クッションを取出してください。



注意

クッションを取出す際は、破れないよう注意してください。



注意

- クッションは洗濯出来ませんので、固く絞った布で汚れを拭き取るようにしてください。
- クッションは、必ず正しい向きで使用してください。向きが異なると製品所定の安全性能が発揮できないおそれがあります。

洗濯方法



注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。
カバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

カバー部分のみ洗濯可能です(必ずサイドサポートのクッションを取出してから洗濯してください)。



ポイント バックサポートのクッションは取出せません。そのまま洗濯してください。

ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず【手洗い】してください。
洗濯後は、乾いた布等で拭き取ってから日陰で平干ししてください。



注意

バックサポート内の板は強くもみ洗いすると破損する可能性があります。
洗濯の際は布部分のみ、もみ洗いしてください。



注意

- 洗濯機は使用しないでください。
- 洗濯時は必ずクッションを取出してから洗濯してください。

各シートカバーの洗濯方法



注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。
カバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず手洗いしてください。
手洗い後は、乾いた布で拭き取ってから、日陰で平干ししてください。



手洗い 30℃



漂白 NG



ドライクリーニング NG



タンブラー乾燥 NG



アイロン NG



日陰で平干し



警告

中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン・ベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。本体や、布などを痛めるおそれがあり大変危険です。



注意

カバー内の板は強くもみ洗いをすると破損する可能性があります。
洗濯の際は布部分のみ、もみ洗いしてください。

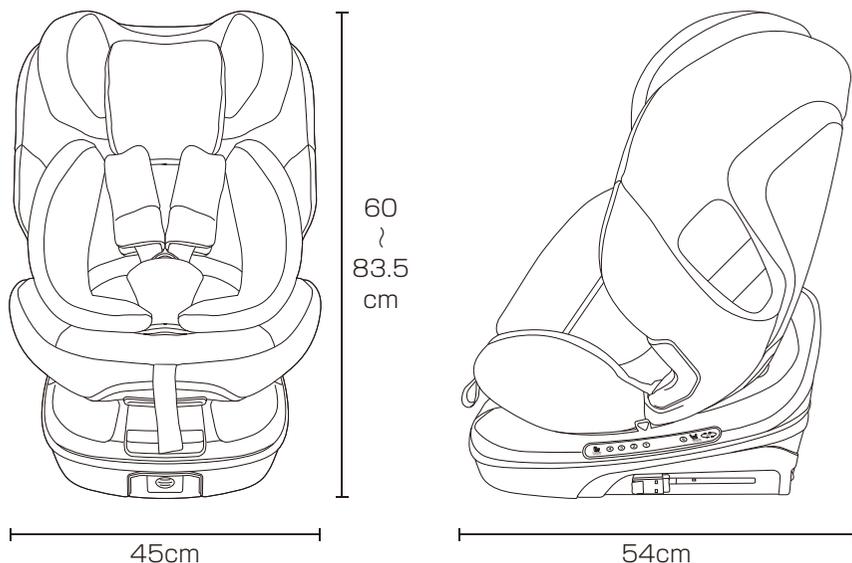
本体

固くしぼった布で水ぶきしてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落として、水ぶきしてください。
水ぶきした後は、日陰でしっかりと乾燥させてください。

製品情報

本体サイズ

奥行き：約 54cm
幅：約 45cm
高さ：約 60～83.5cm



材質

本体：HDPE(高密度ポリエチレン)、PP(ポリプロピレン)
カバー：PE(ポリエステル)
インナークッション：PU(ポリウレタン)
サポートレッグ：アルミ

保管方法

- 安全で乾いた場所に保管して、熱や直射日光をさけてください。
- お子さまの手の届かない場所で保管してください。
- 本製品に重いものを置かないでください。

廃棄方法

- お住まいの各自治体の規定に従い処分、破棄してください。
- 衝突事故で本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- 再利用による事故を防ぐため、廃棄する際はシートカバーを外してから廃棄してください。

この製品は細心の注意をもとに製造されておりますが、
万が一商品に欠陥があった場合は、ただちに使用を中止し当社までご連絡下さい。

●保証書は株式会社中塚小児車工業所または、販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。記載内容をご確認頂き、大切に保管して下さい。

保証について

●保証期間は、お買い上げの日から6ヶ月です。なお、保証期間中でも修理代は有料になることがありますので、保証書をよくお読み下さい。中古市場で購入したもの、もしくは未使用でない譲渡品は、保証対象外になります。

生産物賠償責任 保険について

当社は「TurnPit F ターンピット F」を安心してお使いいただけるように、品質については細心の配慮をいたしております。この取扱説明書に従って正しく取り付け、正しい方法でお使いになったにもかかわらず、製品の欠陥により、身体もしくは財産に損害をおかけした場合は、その損害を補償するために、保険会社と「生産物賠償責任保険」の契約を結んでおります。事故が発生した場合は、ただちに当社までご連絡下さい。

●ご注意：この制度は、製品の品質について保証するものではありません。

保証書

本書は、本書記載内容で無償交換・修理対応をお約束するものです。お買い上げ日より6ヶ月以内に、取扱説明書に従って正常な状態で使用して故障した場合には、下記の保証規定に基づいて無償対応いたします。

保証規定

1. 本商品の保証期間はお買い上げ日より6ヶ月です。
2. 商品到着後、商品に不具合がないか確認して下さい。
3. 修理は当社、またはお買い上げの販売店にて受け付けます。
 - 購入時のレシートもしくは領収書を本書と共に保管して下さい。
(通信販売でご購入の場合は購入された販売店にご確認下さい)
4. お買い上げ年月日、お客様の氏名、住所、販売店名のご記入がない場合、またはそれらを訂正した場合は無効となります。
5. 次のような場合には保証対象外となり、保証期間内でも有料となります。
 - 誤った取扱により生じた損傷
 - 不当な修理、改造、分解掃除等による故障
 - 天災、火災による故障および損傷
 - ご使用による消耗品部材の劣化や汚損
 - 保証書のご提示がない場合
6. 保証対象外の修理品の運賃等、諸掛り費用はお客様にてご負担願います。
7. 本保証書は再発行致しません。大切に保管して下さい。
8. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
9. 製造を終了した製品については、交換・修理対応ができない場合があります。

品名	TurnPit F ターンピット F	保証期間	お買い上げ日より6ヶ月 (但し保証規定による)
	お買い上げ日	年 月 日	
お客様	WEB 確認用		

MADE IN CHINA

●ご提供いただいた個人情報、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。
※製品の仕様は予告なしに変更する場合がございます。

【株式会社中塚小児車工業所】 TEL 079-298-2279
(10:00 ~ 12:00・13:00 ~ 16:00 ※祝祭日を除く月~金曜日)
メール info@nebio-online.jp

Neb:o

輸入販売元 **株式会社中塚小児車工業所**

〒670-0043 兵庫県姫路市小姓町 92

お問い合わせ TEL 079-298-2279 FAX 079-292-6026

メール info@nebio-online.jp

受付時間 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:00

(祝祭日を除く 月~金曜日)